

資料編

- ◆第 10 回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ pp.120-130
NPO 法人サロン 2002 が toto 助成を受けて長野県千曲市で開催する大会。
報告書より一部抜粋。
- ◆サロン 2002 月例会／月例サロン一覧 (1997 ～ 2025) pp.131-138
サロン 2002 の中核事業である月例会・月例サロンの一覧表。
各回の内容は、ホームページの「アーカイブ」に掲載されているのでご参照いただきたい。
- ◆サロン 2002 公開シンポジウム一覧 (2001 ～ 2025) pp.139-140
月例サロンの拡大版として開催される公開シンポジウムの一覧表。
報告書は、ホームページの「アーカイブ」に掲載されているのでご参照いただきたい。
2017 年度以降については「主催事業 ⇒ 報告書『游 ASOBI』」にも掲載されている。
- ◆サロン 2002 ファミリーの約束 pp.141-142
サロン 2002 ファミリーの位置づけ、入退会、メリットなどが記されたもの。
入会ご希望の方は、NPO サロン 2002 ホームページへ
<https://www.salon2002.net>

第10回

U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

主催者メッセージ

歴史に残る第10回大会

2026年1月10日(土)～12日(月祝)の3日間、U-18フットサルリーグチャンピオンズカップが、長野県千曲市のことぶきアリーナ千曲で開かれました。「U-18年代のレベルアップ」と「日常的なリーグ環境の整備」の二つの目標を掲げ、toto助成を受けて10年前に始まったのがこの大会です。今回は10年間の成果と課題を確認する、大きな節目となる大会でした。

第5回大会から東京勢が5大会連続優勝を続けていました。第6回大会から4連覇のフウガドールすみだは、JFA全日本選手権も3連覇中。常勝フウガは今回も充実した戦力です。一方、打倒フウガ、打倒東京を目指す各チームのレベルも確実に上がっています。U-18年代にとっての今年度最後の大舞台は、育成年代の集大成であり、大人のフットサルへの登竜門でもあります。日本代表監督はじめ多くの関係者が注目する中で、個性的なチーム・選手が躍動しました。

関東勢同士の準決勝を接戦で勝ち抜いた決勝は、誰も予想していなかった展開となり、東急Sレイエスがフウガを8-2で破り、神奈川勢として初優勝を飾りました。フットサルの楽しさと怖さが凝縮されたこの試合は、長年U-18フットサルを見続けてきた者として「U-18年代はここまで進化したのか」と心が震えるゲームでした。初めて見る人にとっても、フットサルの奥深さと楽しさを感じられるゲームだったと思います。

大会後の1月26日に、両チーム監督を含む関係者がオンラインで集まり、大会の総括と今後の展望を共有しました。

た。ピッチ上だけではわからない、選手の心身の状態と指導者の対応が語られ、たいへん興味深い内容でした。選手と指導者の関係は、この試合だけでなく、日常から培われるものです。さらに言うなら、長い年月をかけて育まれたクラブ文化が背景にあり、それは日常的なリーグ環境とセットで捉えられます。

神奈川や東京など都市部では、会場確保に苦慮しながらも、学校のフットサル部を含むフットサルクラブを中心に、日常的なリーグ環境が整備されています。一方で、少子化やスポーツ離れが進み、移動の困難さがある地域では、それぞれの事情に応じた環境整備に励んでおられます。この10年間でみえてきた、各地域におけるフットサル育成の多様性を感じるとともに、互いに連携・協力していくことの必要性を感じました。

改めて、今大会をささえてくださった長野県フットサル連盟や開催地の皆さま、そして各地域におけるリーグ運営にご尽力くださっている方々に、心より感謝と御礼を申し上げます。

今大会を主催するNPO法人サロン2002の“志”は、「スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”」です。オフィシャルサイト <https://www.salon2002.net/> には、公開シンポジウムや月例サロンの報告書が「アーカイブ」にあります。ぜひご一読いただき、次のアクションにつなげてください。

これからも皆さまと連携を図りながら、次の10年を見据えてU-18フットサルを育てて参ります。

2026年2月3日

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚 義実

編集後記

記念すべき第10回大会の報告書をお届けします。

静岡で産声を上げた大会は、愛知のオーシャンアリーナでの開催を経て、現在は長野県千曲市の地域の皆さまとともに大会をつくりあげています。個人的にも上山田温泉の温泉街に深い愛着を感じていますが、おそらく大会参加のチームにとっても長野県、千曲市、上山田温泉は特別な思い出の地になっていることと思います。

優勝チームを見れば、静岡、愛知と開催地の優勝ではじまり、その後は京都、大阪が頂点に輝きました。この頃は、さまざまな地域でリーグが生まれ、このまま全国でリーグが行われるようになるのだろうと期待していましたが、コロナの影響もあり、リーグの数は伸び悩んでいます。また、開催できている地域でも、それぞれの課題を抱えながらの運営となっているなか、地域ごとの工夫を重ねて拡大、継続されています。

第5回大会からは東京の5連覇。そして今回は4連覇中の

フウガすみだに決勝で勝利した東急Sレイエスが神奈川に初タイトルをもたらしました。ベスト4を関東勢が独占するなど、関東での強化に他地域が追従できない傾向がさらに強くなっていますが、これは単なる地域性ではなく、東京、神奈川のU-18リーグの充実した歴史、Fリーグクラブの下部組織の充実、そして関東リーグ設立など、これまでの努力が実った結果です。関西リーグの設立などもあり、各地域での取り組みに期待していきたいと思っています。

大会出場選手からは多くのFリーガー、日本代表選手が生まれました。また、選手として出場した選手が指導者として大会に戻ってきてくれるのもうれしいことです。まずは10回大会を皆さまとともに迎えることができたことに感謝し、さらなる歴史を積み重ねていきたいと思っています。

大会事務局 特定非営利活動法人サロン2002
副理事長 本多克己

大会要項（一部抜粋）

1. 名称 第10回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ
2. 主催 特定非営利活動法人サロン2002
3. 主管 長野県フットサル連盟
4. 後援 長野県、長野県教育委員会、千曲市、一般社団法人信州千曲観光局、一般社団法人長野県サッカー協会、千曲市サッカー協会、戸倉上山田温泉旅館組合連合会、信濃毎日新聞社、TSBテレビ信州、信州ケーブルテレビジョン、ちくま未来戦略研究機構、ポアルス長野
5. 協賛 多摩大学
6. 会場 ことぶきアリーナ千曲（長野県）
7. 日程 2026年1月10日（土）、11日（日）、12日（月祝）

8. 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本サッカー協会」とする。）に加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。
- (2) 前項のチームに所属する2006年4月2日以降に生まれた選手で男女の性別は問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。
- (3) 2025年度の選出元のU-18フットサルリーグに登録・出場している選手であること。

9. 参加チーム

参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。

- (1) 地域または都道府県のフットサル連盟が主催、主管または後援して開催される2025年度のU-18フットサルリーグの優勝チーム。優勝チームが出場できない場合は、リーグの推薦する他のチームが出場することができる。
- (2) 出場チームが16チームに満たない場合は、当該年度の11月1日時点でのリーグ参加チーム数の多いリーグから順にチームを選出し、16チームでの開催とする。チーム数が同数の場合は、参加クラブ数の多い順とする

10. 大会形式

- (1) 一次ラウンド：16チームを4チームずつ4つのグループに分け、グループ内で一回戦総当たりのリーグ戦を行い、各グループ1位チームが二次ラウンドに進出する。
リーグ戦での順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - 1) 当該チーム内の対戦成績
 - 2) 当該チーム内の得失点差
 - 3) 当該チーム内の総得点数
 - 4) グループ内の総得失点差
 - 5) グループ内の総得点数
 - 6) 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア) 警告1回	1ポイント
(イ) 警告2回による退場1回	3ポイント
(ウ) 退場1回	3ポイント
(エ) 警告1回に続く退場1回	4ポイント
 - 7) 抽選
- (2) 二次ラウンド：一次ラウンド各グループ1位が準決勝を行い、準決勝勝者が決勝に進出する。準決勝敗者による3位決定戦は行わず両者を3位とする。
- (3) 交流戦：一次ラウンドの2位グループ、3位グループ、4位グループによる交流戦を行う。

11. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ 原則として、40m×20mとする。
- (2) ボール 試合球：フットサル4号ボール
- (3) 競技者の数 競技者の数：5名 交代要員の数：9名以内
- (4) チーム役員の数 4名以内
- (5) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - (イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - (ウ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - (エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - (オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - (キ) ユニフォーム広告表示により生じる会場等の広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - (ク) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - (ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - (サ) その他のユニフォームに関する事項については、日本サッカー協会のユニフォーム規程に則る。
 - ② キャプテンアームバンド：キャプテンは、日本サッカー協会ユニフォーム規程に準拠したアームバンドを着用すること。
 - ③ 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が鉛色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのものである。但し、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。

- ④ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(6) 試合時間

全試合 30 分間（15 分からなる 2 つのピリオド）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間（第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで）とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

- ① 一次ラウンド / 交流戦：引分け
- ② 二次ラウンド
準決勝：PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする
決勝：10 分間（5 分からなる 2 つのピリオド）の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

13. 懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律・フェアプレー委員会が決定する。
- (2) 本大会期間中、警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。
- (3) その他、本大会の懲罰に関する事項については、大会規律・フェアプレー委員会が決定する。

14. 参加申込

- (1) 1 チームあたり 26 名（役員 6 名、選手 20 名）を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること
- (2) 2025 年 12 月 20 日（土）までに申込フォームへの登録、登録票の提出、参加費振込み、宿泊手配を行うこと。

15. 選手証

各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、日本サッカー協会 WEB 登録システム [KICKOFF] から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

16. 組み合わせ

主催者において決定する。

17. 参加料

1 チームあたり 40,000 円を 2025 年 12 月 20 日（土）までに以下の口座に振り込むこと。

ゆうちょ銀行：0-18（ゼロイチハチ）店番 018
普通、口座番号 9148854
特定非営利活動法人サロン 2002

18. 表彰

優勝、準優勝のチームを表彰する。
得点王を表彰し、賀川浩賞を授与する。

19. 経費

旅費交通費は各チーム負担とする。

20. 傷害補償

チームの責任において傷害保険（物損対応可能なもの）に必ず加入し、試合会場に保険証書またはそのコピー等を持参すること。会場の破損等については、チームの責任において保険で対応すること。

21. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。チームの責任において対応すること。

22. その他

- (1) 出場チームは資格を有する審判（原則としてフットサル 3 級以上）を帯同することとし、選出元のリーグが責任をもって対応すること。長野県フットサル連盟の規定により謝金を支払うが、旅費・交通費はチームまたは所属リーグ負担とする。各人の割り当ては 3～4 試合とし、決勝は長野県フットサル連盟にて担当する。
- (2) 代表者会議は 2025 年 12 月 27 日 18 時より、オンラインにて実施する。代表者会議以降の登録票提出以降の参加申込内容の変更は原則として認めない。
- (3) 飲水は、ベンチ内のシート上でペットボトルまたはスクイズボトルに充填された水のみを許可する。飲水後、ベンチ付近にこぼれた水は、チームが責任を持って拭くこと。
- (4) 試合開始の 60 分前にマッチコーディネーションミーティングを行い、ユニフォームを決定する。
- (5) 参加チームと選手は日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程を順守しなければならない。
- (6) 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。
- (7) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (8) 本実施要項に記載のない事項については、主催者にて決定する。
- (9) 全試合の映像を YouTube で配信する。映像は公開し、継続的に閲覧可能とする。

問い合わせ先

第 10 回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ事務局
特定非営利活動法人サロン 2002 中塚・本多
U18salon2002@gmail.com

U-18 フットサルのあゆみ

● JFA 全日本 U-18 フットサル選手権大会

年	優勝	準優勝	3位
2014	聖和学園 FC	名古屋オーシャンズ U-18	藤井学園寒川高等学校サッカー部
2015	岡山県作陽高等学校	北海道釧路北陽高等学校	PSTC ロンドリーナ U-18
2016	帝京長岡高等学校	フットボуз・フットサル U-18	香川県立高松商業高等学校
2017	矢板中央高等学校	新潟県立長岡向陵高等学校	フウガドールすみだファルコンズ
2018	帝京長岡高等学校	フウガドールすみだファルコンズ	聖和学園サッカー部 FC
2019	パスカドーラ町田 U-18	シュライカー大阪 U-18	湘南ベルマーレロンドリーナ U-18
2020	中止		
2021	京都共栄学園高校	バルドラール浦安テルセーロ	エスタボン U18
2022	パスカドーラ町田 U-18 遊学館高校	—	聖和学園高校フットサル部
2023	フウガドールすみだファルコンズ	パスカドーラ町田 U-18	香川県立高松北高校
2024	フウガドールすみだファルコンズ	バルドラール浦安テルセーロ	帝京長岡高校
2025	フウガドールすみだファルコンズ	聖和学園高校フットサル部	東急 S レイエス FC フットサル U-18

● グリーンアリーナ神戸カップフットサルフェスティバル

8月に開催される神戸アスリートタウンクラブ主催のフェスティバル。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2012年	SAKUYO Coracao de Verde	神戸国際大学附属高校
2013年	名古屋オーシャンズ U-18	SAKUYO
2014年	岡山県作陽高校	エンフレンテ熊本
2015年	SAKUYO	名古屋オーシャンズ U-18
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカーショップ
2017年	OKAYAMA SAKUYO	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	SBFC ロンドリーナ U-18	ASV PESCADOLA 町田 U-18
2019年	北海道 U-18 男子	シュライカー大阪 U-18
2020年	立命館宇治高校 神戸国際大学附属高校	シュライカー大阪 U-18 gatt 2008
2021年	名古屋オーシャンズ U-18	シュライカー大阪 U-18
2022年	シュライカー大阪 U-18	メッセ天下茶屋 U-18
2023年	名古屋オーシャンズ U-18	メッセ天下茶屋 FC U-18
2024年	神戸ハーバーフットボールクラブ U18	東海大学付属静岡翔洋高校フットサル部
2025年	府中アスレティック FC ユース	Futsal Clube UNIAO U-18

● ユースフットサル選抜トーナメント

2012年に「U-18 フットサルトーナメント」として創設。

2015年からは名称、形式を変更して開催。

開催年	優勝チーム	会場
2012年	名古屋オーシャンズ U-18(愛知)	オーシャンアリーナ
2013年	瀬戸内高校(広島)	オーシャンアリーナ
2014年	幕張総合高校(千葉)	駒沢体育館
2015年	愛知県選抜 U-18	墨田区総合体育館
2016年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館
2017年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館
2018年	U-18 神奈川県選抜	和歌山ビッグホエール
2022年	U-18 愛知県選抜	グリーンアリーナ神戸
2023年	静岡県 U-18 選抜	グリーンアリーナ神戸

● スポーツデボカップ フットサルフェスタ (旧ホンダカップ)

1997年から開催されているフェスティバル大会に2010年からU-18カテゴリーを設定。関東・東海・関西で予選大会が開催されている。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2010年	名古屋オーシャンズ U-18	さくようフットサル部
2011年	府中アスレティック FC ユース	作陽 Oito Soldados
2012年	SAKUYO Nao admitem	武相高校
2013年	クラーク記念国際高校	東京成徳大学高校フットサル同好会
2014年	クラーク記念国際高校	湘南工科大学附属高校
2015年	SEIRITZ A	SAKUYO
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカー ショップ
2017年	クラーク記念国際高等学校	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	サントス サッカー ショップ	SBFC ロンドリーナ U-18
2019年	クラッキス	レボナ滋賀 U-18
2020年	新型コロナウイルス感染の影響で中止。	
2021年	名古屋オーシャンズ U-18	デウソン神戸 U-18
2022年	メッセ天下茶屋 U-18	Voce e amator U-18
2023年	メッセ天下茶屋 FC	ROBOGATO U-18
2024年	ZOTT WASEDA U18	神戸ハーバーフットボールクラブ U18
2025年	神戸ハーバーフットボールクラブ U18	FORTE/XEBRA ユース

大会結果

第10回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

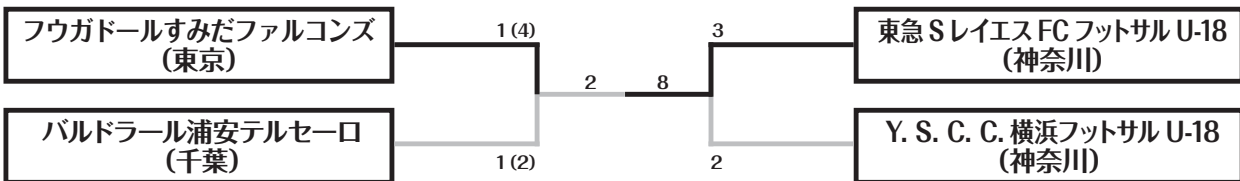
2025年1月11日(土)～13日(月祝) 長野/ことぶきアリーナ千曲

Aグループ		1	2	3	4	勝点	勝	引	敗	得点	失点	得失点	順位
1	フウガドールすみだファルコンズ		13○0	14○1	6○2	9	3	0	0	33	3	30	1
2	ヴィラノーバ水保 U18	0×13		6○1	2×6	3	1	0	2	8	20	-12	3
3	正智深谷高等学校	1×14	1×6		2×3	0	0	0	3	4	23	-19	4
4	VALIENTE	2×6	6○2	3○2		6	2	0	1	11	10	1	2

Bグループ		1	2	3	4	勝点	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1	SBFC ロンドリーナ U18		5○1	4○3	0×6	6	2	0	1	9	10	-1	2
2	83・SPIRITS	1×5		3×7	5○3	3	1	0	2	9	15	-6	4
3	神戸ハーバーフットボールクラブ	3×4	7○3		0×5	3	1	0	2	10	12	-2	3
4	バルドラル浦安テルセーロ	6○0	3×5	5○0		6	2	0	1	14	5	9	1

Cグループ		1	2	3	4	勝点	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1	東急 Sレイエス FC フットサル		9○1	7○1	6○0	9	3	0	0	22	2	20	1
2	富山中部高等学校	1×9		0×2	0×3	0	0	0	3	1	14	-13	4
3	gatt2008 U-18	1×7	2○0		2×5	3	1	0	2	5	12	-7	3
4	PROVA	0×6	3○0	5○2		6	2	0	1	8	8	0	2

Dグループ		1	2	3	4	勝点	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1	ASV PESCADOLA 町田 U-18		9○5	1△1	3×5	4	1	1	1	13	11	2	3
2	VIENTO	5×9		1×5	4×9	0	0	0	3	10	23	-13	4
3	名古屋オーシャンズ U-18	1△1	5○1		3×4	4	1	1	1	9	6	3	2
4	Y. S. C. C. 横浜フットサル U-18	5○3	9○4	4○3		9	3	0	0	18	10	8	1



賀川浩
1924年神戸出身 神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター、サロン2002正会員。2010年に日本サッカー殿堂入り、2015年にはFIFA会長賞を受賞した。

中央 片岡幸村 選手
フウガドールすみだファルコンズ
右 葛島欽咲 選手
東急 Sレイエス FC フットサル U-18

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	片岡 幸村	フウガドールすみだファルコンズ	10	6	渡邊 漣	VALIENTE	5
1	葛島 欽咲	東急 Sレイエス FC フットサル U-18	10	6	望月 蓮琉	フウガドールすみだファルコンズ	5
3	大西 壘	東急 Sレイエス FC フットサル U-18	8	6	佐藤 楓人	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナ U-18	5
4	ティーンカンブ 健造	Y. S. C. C. 横浜フットサル U-18	7	6	田邊隆之介	名古屋オーシャンズ U-18	5
5	小林 碧	東急 Sレイエス FC フットサル U-18	6	6	岡田 真馬	フウガドールすみだファルコンズ	5
				6	齋藤 幸輝	バルドラル浦安テルセーロ	5

第1回大会の結果

エコパアリーナ (メインアリーナ) 2017年1月6日(土)~7日(日)

1次ラウンド

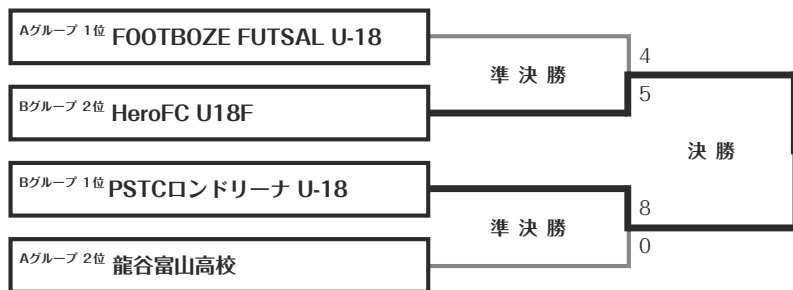
Aグループ		A1	A2	A3	A4
A1	FOOTBOZE FUTSAL U-18 (東京都)		8 ○ 0	10 ○ 0	3 ○ 2
A2	龍谷富山高校 (富山県)	0 ● 8		8 ○ 3	6 ○ 4
A3	宝塚フットサルクラブ (兵庫県)	0 ● 10	3 ● 8		4 △ 4
A4	エンフレンテ熊本 (熊本県)	2 ● 3	4 ● 6	4 △ 4	

Bグループ		B1	B2	B3	B4
B1	PSTCロンドリーナ U-18 (神奈川県)		4 ○ 2	3 ○ 2	0 △ 0
B2	日本ウェルネス高校 (長野県)	2 ● 4		1 ● 9	3 ● 8
B3	HeroFC U18F (静岡県)	2 ● 3	9 ○ 1		3 ○ 1
B4	アリアンサフットサルクラブ (大阪府)	0 △ 0	8 ○ 3	1 ● 3	

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	内田 大登	エンフレンテ熊本U18	10
2	堀 光輝	宝塚フットサルクラブU18	6
2	松田 隼	FOOTBOZE FUTSAL U-18	6
4	山西 静樹	龍谷富山高校	5
5	松左川 晴也	アリアンサ フットサルクラブ	4
5	千野 慧太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	南雲 颯太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	原田 守久	PSTCロンドリーナU-18	4
5	原科 勇我	HeroFC U18F	4
5	村上 拓也	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	木村 芳之	HeroFC U18F	4

2次ラウンド 2017年1月7日(土) エコパアリーナ (サブアリーナ)



HeroFC U18F

第2回大会の結果

武田テバオーシャンアリーナ 2018年1月6日(土)~7日(日)

1次ラウンド

Aグループ		A1	A2	A3	A4
A1	名古屋オーシャンズ U-18 (愛知県第2)		5 ○ 1	4 ○ 1	5 ○ 2
A2	アズヴェール藤沢U-18 (神奈川県)	1 ● 5		3 ● 6	4 △ 4
A3	京都橘高校 (京都府)	1 ● 4	6 ○ 3		4 ○ 3
A4	不二越工業高等学校 (富山県)	2 ● 5	4 △ 4	3 ● 4	

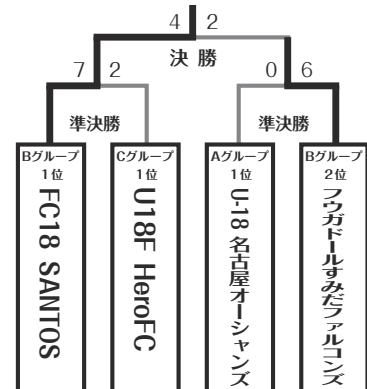
Bグループ		B1	B2	B3	B4
B1	SANTOS FC18 (愛知県第1)		2 △ 2	12 ○ 2	9 ○ 0
B2	フウガドルすみだファルコンズ (東京都第1)	2 △ 2		7 ○ 1	12 ○ 0
B3	神戸国際大学附属高校フットサル部 (兵庫県)	2 ● 12	1 ● 7		5 ○ 3
B4	筑北SC WELLNESS (長野県)	0 ● 9	0 ● 12	3 ● 5	

Cグループ		C1	C2	C3	C4
C1	HeroFC U18F (静岡県)		2 ○ 1	2 ○ 0	5 ○ 2
C2	FOOTBOZE FUTSALU-18 (東京都第2)	1 ● 2		5 ○ 1	4 ○ 1
C3	アリアンサ フットサルクラブ (大阪府)	0 ● 2	1 ● 5		3 △ 3
C4	エンフレンテ熊本フットサルU-18 (熊本県)	2 ● 5	1 ● 4	3 △ 3	

2次ラウンド



SANTOS FC18



得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	ベレイラチアゴヒデキミヤザキ	SANTOS	11
2	山口 勝輝	SANTOS	10
3	佐々木 拓海	フウガ	7

順位	選手名	所属	得点
4	イチヤナギラファエルジェファソン	SANTOS	6
4	新田 朋紀	不二越工業	6
4	富山 勇気	フウガ	6
7	下田 康聖	名古屋オーシャンズ	5

順位	選手名	所属	得点
8	横田 海斗	Hero	4
8	荒木 康作	SANTOS	4
8	山口 敬史	京都橘	4
8	川本 樹弥	名古屋オーシャンズ	4

第3回大会の結果

2019年1月5日(土)、1月6日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲

1次ラウンド

Aグループ		日本ウェルネス筑北 SC	宝塚フットサルクラブ U-18	ASV PESCADOLA 町田 U-18	サントス FC/santista
A1	日本ウェルネス筑北 SC (長野県)	△	3-3	●	●
A2	宝塚フットサルクラブ U-18 (兵庫県)	3-3	△	●	●
A3	ASV PESCADOLA 町田 U-18 (東京都)	○	○	○	○
A4	サントス FC/santista (愛知県)	○	○	●	○
		10-1	7-0	1-4	

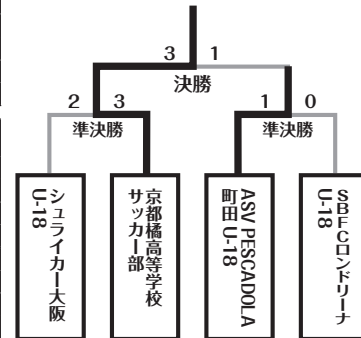
Bグループ		明科高等学校サッカー部	シュライカー大阪 U-18	SBFC ロンドリーナ U-18	エンフレンテ熊本 U-18
B1	明科高等学校サッカー部 (開催地:長野県)	●	●	●	●
B2	シュライカー大阪 U-18 (大阪府)	○	○	○	○
B3	SBFC ロンドリーナ U-18 (神奈川県)	○	○	○	○
B4	エンフレンテ熊本 U-18 (熊本県)	○	○	○	○
		5-1	0-6	2-1	

Cグループ		不二越工業高等学校	京都橋高等学校サッカー部	ディヴェルティード 旭川エルマーノス	CRAQUES
C1	不二越工業高等学校 (富山県)	△	●	●	△
C2	京都橋高等学校サッカー部 (京都府)	○	○	○	○
C3	ディヴェルティード旭川エルマーノス (北海道)	○	●	○	●
C4	CRAQUES (静岡県)	△	●	○	○
		2-2	3-5	4-1	

2次ラウンド



京都橋高等学校サッカー部

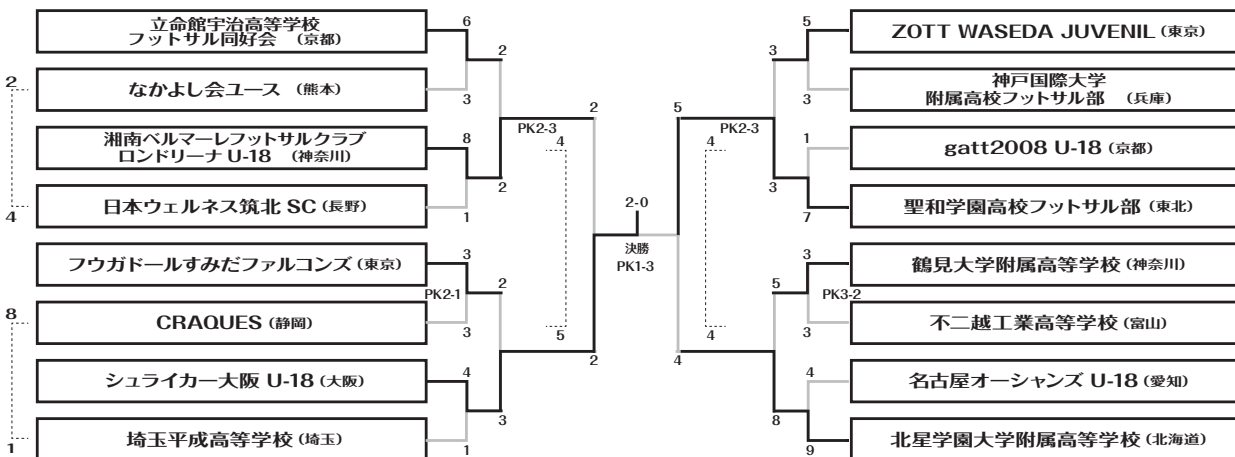


得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	数内 涼馬	SBFC ロンドリーナ U-18	12	8	川戸 渉平	京都橋高等学校サッカー部	4	13	温 立丞	SBFC ロンドリーナ U-18	3
2	山口 勝輝	サントス FC /santista	7	8	原田 蓮人	SBFC ロンドリーナ U-18	4	13	渡辺 旺介	SBFC ロンドリーナ U-18	3
2	金沢 一矢	京都橋高等学校サッカー部	7	8	千葉 一心	Q R A Q U E S	4	13	甲林 陸	シュライカー大阪 U-18	3
4	井口 凜太郎	シュライカー大阪 U-18	6	8	板橋 瑠聖	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	13	岩淵 叶夢	シュライカー大阪 U-18	3
5	垣谷 将太郎	京都橋高等学校サッカー部	5	8	甲斐 稜人	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	13	藤本 毅	エンフレンテ熊本	3
5	林 侅二郎	京都橋高等学校サッカー部	5	13	ヘレイラチアゴヒデキミヤザキ	サントス FC /santista	3	13	石川 駿	明科高等学校サッカー部	3
5	稲本 結斗	サントス FC /santista	5								

第4回大会の結果

2020年1月4日(土)、1月5日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



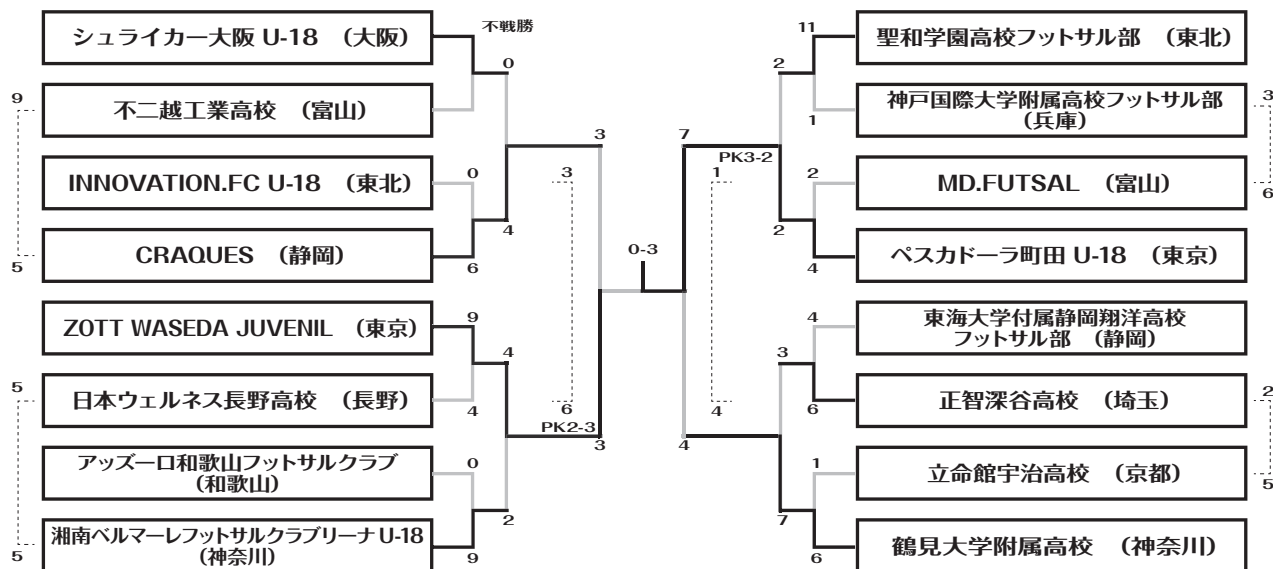
順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	畦地 智志	gatt 2008 U18	6	4	神田 亜典	ZOTT WASEDA JUVENIL	4
2	桐山 佑大	立命館宇治高校フットサル同好会	5	4	宮下 豪也	日本ウェルネス筑北 SC	4
2	田代 海	聖和学園高等学校フットサル部	5	13	伊藤 巧真	北星学園大学附属高等学校	3
4	熊谷 音乙	北星学園大学附属高等学校	4	13	松友 亮輝	神戸国際大学附属高校	3
4	嘉数 希望	シュライカー大阪 U-18	4	13	千葉 黎	CRAQUES U-18	3
4	武内 遼生	北星学園大学附属高等学校	4	13	松井 茂樹	立命館宇治高校フットサル同好会	3
4	高木 隼斗	フウガドールすみだファルコンズ	4	13	井上 統世	聖和学園高等学校フットサル部	3
4	大澤 寛治	ZOTT WASEDA JUVENIL	4	13	大石 颯馬	CRAQUES U-18	3
4	杉村 和哉	鶴見大学附属高等学校	4	13	高橋竜ノ介	鶴見大学附属高等学校	3
4	数内 涼也	湘南ベルマーレ FC ロンドリーナ U-18	4				



シュライカー大阪 U-18

第5回大会の結果

2021年1月9日(土)、1月10日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



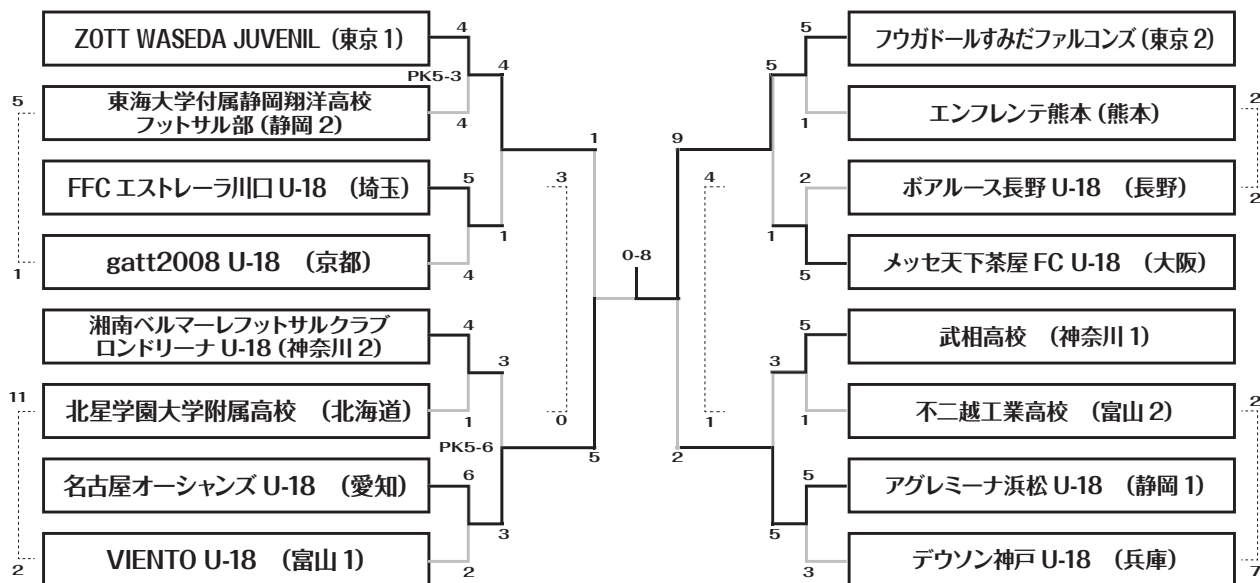
得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	渡部 朝登	鶴見大学附属高校	6	4	嶋原 直希	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
2	亀田 航正	正智深谷高校	4	4	草野 大空	聖和学園高校フットサル部	3
2	成田 美光	ベスカドーラ町田 U-18	4	4	松野 洸佑	ベスカドーラ町田 U-18	3
4	山田 葵琉	CRAQUES U-18	3	4	本田 遥大	湘南ベルマーレFC ロンドリーナ U-18	3
4	織田 遥希	CRAQUES U-18	3	4	二瓶 京介	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
4	若林 勇太	聖和学園高校フットサル部	3	4	大澤 寛治	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
4	高橋 大樹	湘南ベルマーレFC ロンドリーナ U-18	3				



第6回大会の結果

2022年1月8日(土)、9日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



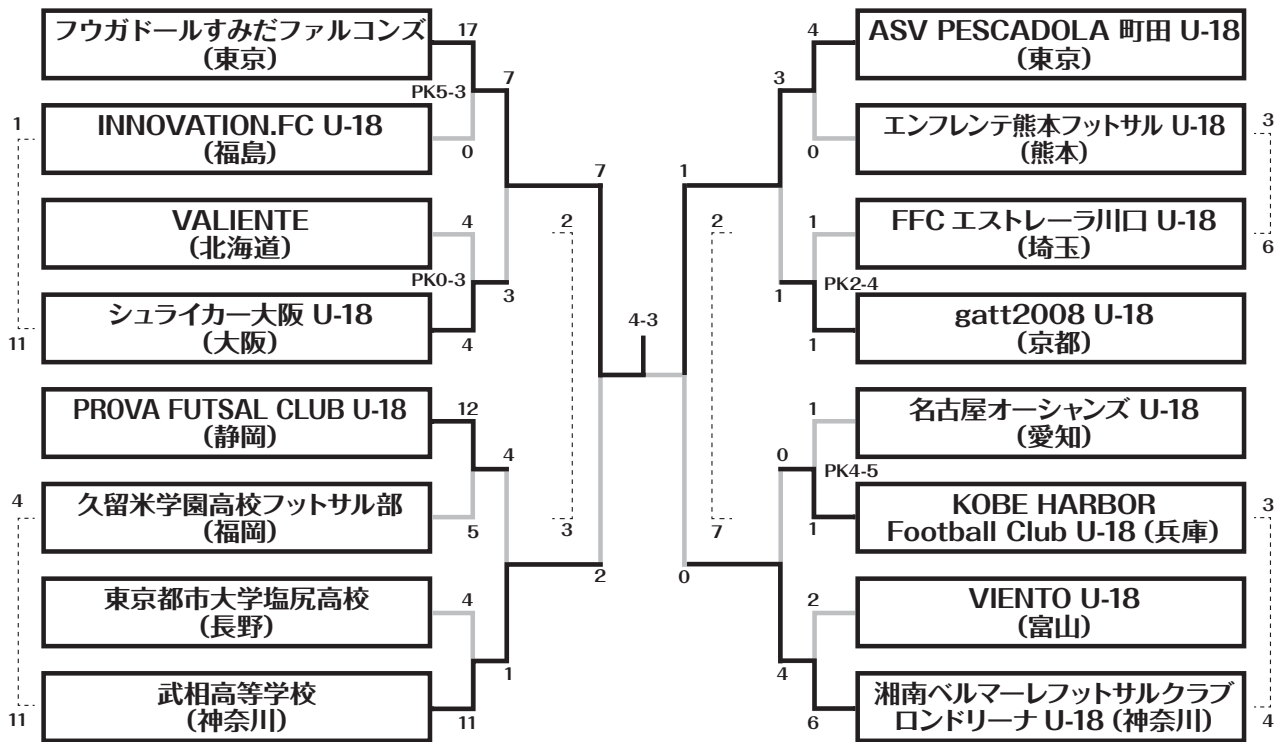
得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	伊藤 諄哉	フウガドルすみだファルコンズ	9	3	大野 頼基	メッセ天下茶屋 FC U-18	3
2	高柳 治希	アグレミーナ浜松 U18	6	3	原 佑太郎	デウソン神戸 U18	3
3	中田 奏生	ZOTT WASEDA JUVENIL	3	3	帆足 江	フウガドルすみだファルコンズ	3
3	岡本 太一	名古屋オーシャンズ U-18	3	3	伊集 龍二	名古屋オーシャンズ U-18	3
3	関口 啓太	武相高等学校	3				



第7回大会の結果

2023年1月8日(土)、9日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



フウガドルすみだファルコンズ (東京)

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	大多和 一虎	PROVA FUTSAL CLUB U-18	7
2	石井 想一郎	フウガドルすみだファルコンズ	5
2	祖父江 隆ノ介	ASV PESCADOLA 町田 U-18	5
4	深澤 珂斐	PROVA FUTSAL CLUB U-18	4
4	長木 シンジ	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナ U-18	4
4	松田 隆幹	武相高等学校	4
4	帆足 江	フウガドルすみだファルコンズ	4
4	秋山 大晟	フウガドルすみだファルコンズ	4
4	春日 陵河	フウガドルすみだファルコンズ	4

賀川浩賞 (得点王)



大多和一虎 選手

第8回大会の結果

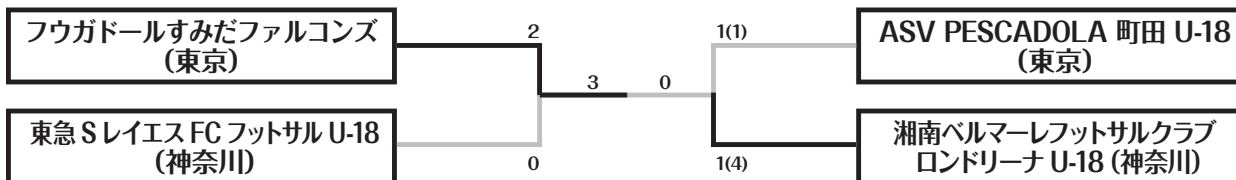
2024年1月6日(土)、7日(日)、8日(月祝) 長野/ことぶきアリーナ千曲

Aグループ		フウガ	矢部	KOBE	翔洋	勝点	勝	引	敗	得点	失点	得失点	順位
1	フウガドールすみだファルコンズ(関東)	-	20-0	4-1	3-0	9	3	0	0	27	1	26	1
2	熊本県立矢部高等学校(熊本)	0-20	-	0-4	3-8	0	0	0	3	3	32	-29	4
3	KOBE HARBOR Football Club U-18(兵庫)	1-4	4-0	-	2-5	3	1	0	2	7	9	-2	3
4	東海大学付属静岡翔洋高校フットサル部(静岡)	0-3	8-3	5-2	-	6	2	0	1	13	8	5	2

Bグループ		レイエス	シュライカー	VALIENTE	83SPIRITS	勝点	勝	引	敗	得点	失点	得失点	順位
1	東急SレイエスFCフットサルU-18(神奈川)	-	3-2	4-1	6-0	9	3	0	0	13	3	10	1
2	シュライカー大阪U-18(大阪)	2-3	-	2-1	8-4	6	2	0	1	12	8	4	2
3	VALIENTE(北海道)	1-4	1-2	-	7-5	3	1	0	2	9	11	-2	3
4	83SPIRITS(長野)	0-6	4-8	5-7	-	0	0	0	3	9	21	-12	4

Cグループ		PESCADOLA	オーシャンズ	VIENTO	AZVERT	勝点	勝	引	敗	得点	失点	得失点	順位
1	ASV PESCADOLA 町田 U-18(東京)	-	4-3	4-1	10-1	9	3	0	0	18	5	13	1
2	名古屋オーシャンズ U-18(愛知)	3-4	-	1-1	9-4	4	1	1	1	13	9	4	3
3	VIENTO U-18(富山)	1-4	1-1	-	11-1	4	1	1	1	13	6	7	2
4	AZVERT 薩摩川内U-18(鹿児島)	1-10	4-9	1-11	-	0	0	0	3	6	30	-24	4

Dグループ		ロンドリーナ	久御山	エストレラ	久留米	勝点	勝	引	敗	得点	失点	得失点	順位
1	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナU-18(神奈川)	-	11-1	3-2	18-2	9	3	0	0	32	5	27	1
2	京都府立久御山高等学校(京都)	1-11	-	0-6	7-7	1	0	1	2	8	24	-16	3
3	FFC エストレラ川口U-18(埼玉)	2-3	6-0	-	9-2	6	2	0	1	17	5	12	2
4	久留米学園高等学校フットサル部(福岡)	2-18	7-7	2-9	-	1	0	1	2	11	34	-23	4



フウガドールすみだファルコンズ(東京)



片山 聖 選手

賀川 浩
 1924年神戸出身。神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター、サロン2002正会員。2010年に日本サッカー殿堂入り、2015年にはFIFA会長賞を受賞した。

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	片山 聖	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナU-18	10	4	勝又 陵瑛	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナU-18	5	9	石井想一郎	フウガドールすみだファルコンズ	4
2	山村 峰央	名古屋オーシャンズ U-18	6	4	春日 陵河	フウガドールすみだファルコンズ	5	9	桑原 健太	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4
2	竹下 藍登	フウガドールすみだファルコンズ	6	4	木村 颯也	ASV PESCADOLA 町田 U-18	5	9	帆足 江	フウガドールすみだファルコンズ	4
4	高島 充湊	VIENTO U-18	5	9	廣沢 碧馬	FFC エストレラ川口 U-18	4	9	酒井 颯馬	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナU-18	4
4	祖父江 隆ノ介	ASV PESCADOLA 町田 U-18	5	9	新 竜兵	フウガドールすみだファルコンズ	4	9	小泉 慧弥	東急SレイエスFCフットサル U-18	4

第9回大会の結果

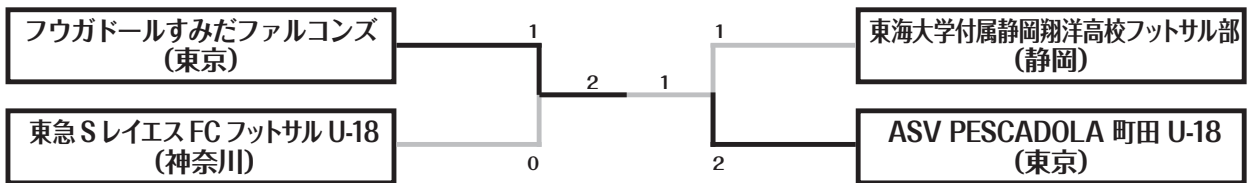
2025年1月11日(土)～13日(月祝) 長野/ことぶきアリーナ千曲

Aグループ		東急	名古	ga	富山	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1	東急SレイエスFCフットサル		3○1	13○0	5○0	9	3	3	0	0	21	1	20	1
2	名古屋オーシャンズU-18	1●3		4○3	2○0	6	3	2	0	1	7	6	1	2
3	gatt2008 U-18	0●13	3●4		4○2	3	3	1	0	2	7	19	-12	3
4	富山県立伏木高等学校	0●5	0●2	2●4		0	3	0	0	3	2	11	-9	4

Bグループ		レイエス	シュライカー	VALIENTE	83SPIRITS	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1	フウガドールすみだファルコンズ		4○1	8○1	10○1	9	3	3	0	0	22	3	19	1
2	バルドラール浦安テルセーロ	1●4		11○3	5○0	6	3	2	0	1	17	7	10	2
3	VALIENTE	1●8	3●11		4○2	3	3	1	0	2	8	21	-13	3
4	アンビシオーネ松本 U-18	1●10	0●5	2●4		0	3	0	0	3	3	19	-16	4

Cグループ		東海	正智	湘南	熊本	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1	東海大学付属静岡翔洋高校フットサル部		8○2	2△2	4○2	7	3	2	1	0	14	6	8	1
2	正智深谷高等学校	2●8		4○3	5○2	6	3	2	0	1	11	13	-2	2
3	湘南ベルマーレフットサルクラブ	2△2	3●4		3○1	4	3	1	1	1	8	7	1	3
4	熊本国府高校フットサル同好会	2●4	2●5	1●3		0	3	0	0	3	5	12	-7	4

Dグループ		AS	神戸	PR	不二	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1	ASV PESCADOLA 町田 U-18		2○0	9○5	10○2	9	3	3	0	0	21	7	14	1
2	神戸ハーバーフットボールクラブ	0●2		5○2	7○4	6	3	2	0	1	12	8	4	2
3	PROVA FUTSAL CL	5●9	2●5		14○0	3	3	1	0	2	21	14	7	3
4	不二越工業高校	2●10	4●7	0●14		0	3	0	0	3	6	31	-25	4



フウガドールすみだファルコンズ (東京)



賀川浩 (得点王)

賀川浩

1924年神戸出身 神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター、サロン2002正会員。2010年に日本サッカー殿堂入り、2015年にはFIFA会長賞を受賞した。

齋藤幸輝 選手

バルドラール浦安テルセーロ

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	齋藤 幸輝	バルドラール浦安テルセーロ	9	5	深澤 楓翔	PROVA FUTSAL CLUB U-18	5	7	長谷部 陽	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4
2	岩井 琢真	フウガドールすみだファルコンズ	6	7	申橋 颯来	東急SレイエスFCフットサルU-18	4	7	新 竜兵	フウガドールすみだファルコンズ	4
2	陰山 福紀	神戸ハーバーフットボールクラブU-18	6	7	入野 凌哉	PROVA FUTSAL CLUB U-18	4	7	行本詩心優	フウガドールすみだファルコンズ	4
2	大多和一虎	PROVA FUTSAL CLUB U-18	6	7	飯田 大雅	PROVA FUTSAL CLUB U-18	4	7	小泉 慧弥	東急SレイエスFCフットサルU-18	4
5	青砥 圭汰	ASV PESCADOLA 町田 U-18	5	7	小野 晃平	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	7	大西 壘	東急SレイエスFCフットサルU-18	4

サロン2002月例会/月例サロン一覧(1997~2025)

2026.2.24.

回数	年	期日	会場	テーマ(報告・話題提供者)
(1997年度)				
第1回	1997	4.18.	お茶の水女子大	1.日本サッカーにおけるナショナルアイデンティティーの確立に関する研究(高橋義雄) 2.韓国社会と2002年ワールドカップ(韓国研究者の研究発表紹介-中塚義実) 3.スポンサーの立場からみた巨大スポーツイベント(榎竜一)
第2回		5.16.	お茶の水女子大	サッカーくじについて(高橋義雄/三堀潔貴)
第3回		6.20.	カリンカ	台風のため中止 → 来てしまった人はそのままカリンカへ
第4回		7.18.	お茶の水女子大	スポーツイベント雑感-スポーツイベントについて考えたこと・調べたこと(仲澤眞)
第5回		8.17.~18.	Jヴィレッジ	1.持ち株会社解禁とプロサッカークラブの経営(井上俊也) 2.国際スポーツイベントへの政府の関与(高橋義雄) 3.スポーツカウンセラーの教育・研修に関するJリーグアンケート調査(坂中尚哉) 4.2002年ワールドカップの練習会場について(中塚義実/高橋義雄)
第6回		9.18.	筑波大学附属高校	2002年ワールドカップの練習会場(キャンプ地)について(宮村剛史)
第7回		10.17.	筑波大学附属高校	サッカーを取り巻く職業について-プロ選手のセカンドキャリアを考える(大場淑子)
第8回		11.21.	筑波大学附属高校	ユース(以下の)年代のサッカーを考える(中塚義実)
第9回		12.19.	筑波大学附属高校	スポンサーからみたFIFAワールドカップ(花田一成)
第10回	1998	1.29.	筑波大学附属高校	1.タレント発掘の観点からみたサッカー環境とは(中塚義実) 2.プロサッカー選手に対するキャリアカウンセリング(木幡日出男)
第11回		2.20.	筑波大学附属高校	1.審判活動における心理的影響に関する研究(坂中尚哉) 2.横浜プロジェクト報告及び検討(木下昭英)
第12回		3.20.	筑波大学附属高校	1.Jリーグ球団をめぐる組織間関係の形成過程に関する研究(戸苅次郎) 2.高知県サッカーの動向について(中塚頼彦)
(1998年度)				
第13回		4.17.	筑波大学附属高校	1.わが国におけるサッカーの指導者養成制度について(飯田義明) 2.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)について(木下昭英)
第14回		5.14.	筑波大学附属高校	1.プロサッカー選手の職務満足に関する研究案(江口潤) 2.著書紹介『幻のサッカー王国-スタジアムからみた解体国家ユーゴスラビア』(宇都宮徹吉) 3.フランス大会へ向けての企画・情報など
第15回		6.16.	筑波大学附属高校	1.著書紹介『サッカーと対峙する男-八重樫茂男』(加藤栄二) 2.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)進行状況報告(木下昭英)
第16回		7.23.	筑波大学附属高校	1.FIFAワールドカップフランス大会報告(宇都宮徹吉他) 2.I.F.F.進行状況報告(木下昭英) 3.サロン2002夏合宿企画案の検討
第17回		8.1.~2.	新横浜プリンスホテル	1.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)-セミナー部門・パーティに参加(8月1~2日) 2.Jリーグ観戦-横浜フリューゲルス対鹿島アントラーズ(8月1日) 3.新横浜プリンスホテル内での飲み会(8月1日深夜)
第18回		9.17.	筑波大学附属高校	1.フランスサッカーの現状と課題(井上俊也) 2.インターナショナルフットボールフェスタ(I.F.F.)報告(木下昭英)
第19回		10.20.	筑波大学附属高校	1.「サッカー-TVアイ」の試み(葉梨忠男) 2.体育における「みるスポーツ」教育の可能性と役割-女子サッカーの授業実践より(中塚義実)
第20回		11.6.	筑波大学附属高校	“横浜FM問題”に関する緊急ミーティング
第21回		11.20.	筑波大学附属高校	1.2002年をよりディープに楽しむために-ワールドカップキャンプ地に関するレポート(野上宏志) 2.キャンプ候補地としての高知県の場合(宮村剛史) 3.平成14年への提言(宇都宮徹吉)
第22回		12.12.~13.	鹿島アントラーズクラブハウス	1.鹿島アントラーズのこれまでとこれから-ある関係者の独り言(長岡茂) 2.平成14年への提言(宇都宮徹吉) 3.鹿島市フットサル大会へ出場 4.天皇杯予選観戦:鹿島アントラーズ対筑波大学
第23回	1999	1.29.	筑波大学附属高校	1.NPO法について(松下徹) 2.サロン2002のこれまでとこれから(中塚義実)
第24回		2.18.	筑波大学附属高校	W杯権利ビジネスの問題点と今後のスポンサーシップのあり方(花田一成)
第25回		3.17.	筑波大学附属高校	サッカーくじについて(その1)(両角晶仁)
(1999年度)				
第26回		4.15.	筑波大学附属高校	サッカーくじについて(その2)(両角晶仁)
第27回		5.18.	筑波大学附属高校	草サッカーはいま-未登録層のサッカーの現状と課題(浜村真也)
第28回		6.17.	筑波大学附属高校	母国巡礼-スタジアムから見た英国流フットボール(宇都宮徹吉)
第29回		7.13.	筑波大学附属高校	ユース年代のサッカーの方向性をさぐる(中塚義実)
第30回		7.17.~18.	新潟市	サッカー-振興を市民の手で(小島裕範/中塚義実)
第31回		8.27.	筑波大学附属高校	マイノリティのスポーツ環境を考える-移植患者のスポーツ(安藤裕一)
第32回		9.22.	筑波大学附属高校	異文化を知らう! パートII-ハンドボールと企業スポーツ(香西武彦)

番外編	9.28.~29.	JFA他	スコットランドのスポーツ社会学者(H.F.Moorhouse)を囲む情報交歓会 注)28日は、日本体育・学校健康センター主催、サロン2002企画 29日は、主催・企画はサロン2002、会場は日本サッカー協会で行われた
第33回	10.26.	筑波大学附属高校	スタジアムから見た分断国家ー知られざるアイリッシュ・フットボール(宇都宮徹吉)
第34回	11.10.	筑波大学附属高校	旅行会社が育てるグラスルーツ・スポーツー毎日コムネットのサッカービジネス(脇田英人)
第35回	12.20.~21.	掛川市	クラブ運営と公益性(鶴木恵介/伊藤薫)
第36回	12.20.	筑波大学附属高校	「アメリカのサッカー」から学んだもの(仲澤 真)
第37回	2000 1.25.	筑波大学附属高校	女子ワールドカップUSAのボランティアを終えて(小林美由紀)
第38回	2.24.	筑波大学附属高校	Jリーグ選手協会(選手側)がらみる、日本サッカー界の現状と課題(信藤健仁、大場淑子)
第39回	3.27.	筑波大学附属高校	サロン2002(Ver.2000~2001)について(中塚義実)
(2000年度)			
第40回	4.25.	筑波大学附属高校	サッカーくじについて(その3)(両角晶仁)
第41回	5.18.	筑波大学附属高校	21世紀の生涯スポーツーフットボールを楽しむために(徳田仁)
第42回	6.16.	筑波大学附属高校	何をもって「スポーツイベントの成功」とするのか(高橋義雄)
第43回	7.23.~24.	筑波大学	浦和レッズ・サポーターを追って(清水諭)
第44回	8.10.	筑波大学附属高校	21世紀のネーションズカップとはーEURO2000から見えるもの(宇都宮徹吉)
第45回	8.26.~27.	新潟市	サッカー振興を市民の手でPart2(小島裕範/中塚義実)
第46回	9.19.	筑波大学附属高校	見易いサッカー番組とはーサッカーTV復活！(葉梨忠男/桐谷博)
第47回	10.27.	筑波大学附属高校	フットサルプロジェクト1の展望と課題ーフットサルの現状と連盟の意義(フットサルプロジェクト1)
第48回	11.22.	筑波大学附属高校	“ディナモ”と社会主義政権下のフットボール(宇都宮徹吉)
第49回	12.21.	筑波大学附属高校	フットサル連盟は必要かー21世紀のスポーツと、競技団体のあり方(フットサルプロジェクト1)
第50回	2001 1.25.	筑波大学附属高校	サロン2002のホームページをどう活かすか(本多克己・小緑典子・奥野剛史・田尻美寧貴他)
第51回	2.17.	駒沢陸上競技場	2001年のフットサル連盟(梶野政志)
第52回	3.16.	筑波大学附属高校	サッカーTVを斬るーサッカーファンの開拓にTVはどう貢献できるか(葉梨忠男)
(2001年度)			
第53回	4.27.	筑波大学附属高校	ユースサッカーは変わるか？ーDUOリーグ5年間の歩みと東京都ユースサッカーリーグ創設への展望(中塚義実)
第54回	5.17.	筑波大学附属高校	ワールドカップ・プロジェクト1ーコンフェデ杯から何かを残そう(竹原典子)
第55回	6.19.	筑波大学附属高校	コンフェデレーションズカップを振り返ってー運営の立場から(長岡茂)
第56回	7.22.	横浜国際総合競技場	コンフェデレーションズカップ総括シンポジウム(長岡茂・竹原典子・小島裕範)
第57回	8.25.~26.	Jステップ	スポーツ好きな子どもたちを育てよう 事例1.DUOリーグー学校運動部とクラブユースによるリーグ戦(中塚義実) 事例2.地域クラブU-18ー清水市の例(宮城島清也) 事例3.Jリーグユースチームの育成(山下則之)
第58回	9.27.	筑波大学附属高校	2002年に何ができるか(小出正三・浅野智嗣・片岡麻衣子)
第59回	10.26.	筑波大学附属高校	東京都ユースリーグ創設へ向けての動きを追うープレリーグから何が見えるか(東京都ユースリーグ準備委員会:仮称)
第60回	11.28.	筑波大学附属高校	ユースリーグの可能性と課題ー2010年を視野に入れて(東京都ユースリーグ準備委員会:仮称)
第61回	12.15.	神戸市	2010年のサッカー環境ーDUOリーグの試み(中塚義実)
第62回	2002 1.29.	筑波大学附属高校	2002年(以降)のサロン2002を考える
第63回	2.27.	筑波大学附属高校	2002年(以降)のサロン2002を考える(その2)
第64回	3.25.	筑波大学附属高校	ワールドカップの“物語”をいかに集めるかー2002年(以降)のサロン2002を考える③(ワールドカッププロジェクトII)
(2002年度)			
第65回	4.19.	筑波大学附属高校	「SP(サポーターズ・プロジェクト)2002」の提案(宇都宮徹吉)
第66回	5.11.	JISS	国立スポーツ科学センター(JISS)について(浅見俊雄)/2002年度総会
第67回	6.20.	筑波大学附属高校	「それぞれのワールドカップ」中間報告会
第68回	8.3.	東京体育館	ワールドカップ総括シンポジウム Iー「ささえる物語」を中心に(長岡茂、村林裕、宮城島清也)
第69回	8.10.	神戸ファッション美術館	ワールドカップ総括シンポジウム IIー「観戦と交流の物語」を中心に(賀川浩、スー木下、橋本潤子、宇都宮徹吉)
第70回	9.24.	筑波大学附属高校	「フットサルプロジェクトII」実施上の問題点(澤井和彦)
第71回	11.1.	筑波大学附属高校	ユース年代にリーグ戦を！ー底辺からトップまで(東京都高体連ユースリーグ検討委員会)
第72回	11.22.	筑波大学附属高校	JFLの歴史と展望ー横河FCの事例を通して考える(内藤隆)
第73回	12.11.	筑波大学附属高校	日本代表戦チケットについて(浜村真也、平川亘)
第74回	2003 1.23.	筑波大学附属高校	高校体育におけるサッカーの取り上げ方ー体育実技と体育理論の実践報告(中塚義実)
第75回	2.1.~2.	刈谷市	1.刈谷市のサッカー環境ーこれまでとこれから(刈谷市サッカー連盟神谷理事長) 2.豊かなスポーツ環境構築のためにーDUOリーグからU-18東京都リーグまで(中塚義実)
第76回	3.25.	筑波大学附属高校	ー地域のスポーツ環境の現状と今後の展望(中村敬)
(2003年度)			
第77回	4.18.	筑波大学附属高校	東京都ユースリーグ創設の経緯と実際(中塚義実)
第78回	5.24.	筑波大学附属高校	GE社の「シックスシグマ」手法を用いたサロン2002の課題の検討(笹原勉)/2003年度総会
第79回	6.26.	筑波大学附属高校	サロン2002の月例会を活性化するには(サロン2002活性化プロジェクト)
第80回	8.2.	東京体育館	2003公開シンポジウム「地域で育てるこれからのスポーツ環境(中塚義実、宇都宮徹吉、山下則之)
第81回	8.26.	筑波大学附属高校	研究者からみたサッカーー「日本フットボール学会」創設をめぐる(安松幹展)
第82回	9.24.	大分県サッカー協会	(大分で)いかにクラブを育てるか(中塚義実)



第83回		10.24.	日本サッカー協会	競技団体の登録制度を考えるーJFA200万人構想をめぐって(CHQ他)
第84回		12.2.	筑波大学附属高校	フットサル界の現状と課題(本多克己)
第85回		12.18.	筑波大学附属高校	サッカー・スポーツと「科学研究」の架け橋となるにはーJリーグアカデミー、JCY科学研究委員会、日本フットボール学会の今後を探るー(山下則之、中塚義実、大橋二郎)
第86回	2004	1.21.	両国「とくだわら」	ローカルな活動からゆたかなくらしづくりへーアートとスポーツ:分野を超えた活動の可能性(中村敬、土谷亨)
第87回		2.26.	筑波大学附属高校	いまいちどサロン2002のあり方を考える
第88回		3.9.	現代美術製作所	歯磨き感覚でスポーツは可能か?(井関信雄、中塚義実)
(2004年度)				
第89回		4.28.	筑波大学附属高校	2004年春のフットサル報告会(中塚義実、本多克己)
第90回		5.22.	味の素スタジアム	スコットランドで学んだこと(高橋義雄)／2004年度総会
第91回		6.29.	NPO文京教育トラスト	英語とサッカーセミナー(麻生征宏、塚本正昭)
第92回		7.24.	伊香保温泉丸本館	ザスバ草津の挑戦(賢持宏昭★、小林俊文)
第93回		8.12.	NARAWA WING	1.ソシオ成岩スポーツクラブの運営について(榊原孝彦) 2.DUOリーグ・新規リーグのマネジメントについて(中塚義実)
第94回		9.22.	筑波大学附属高校	宇都宮徹巻がみたEURO～アジアカップ(宇都宮徹巻)
第95回		10.8.	筑波大学附属高校	サロン2002公開シンポジウム検討会:totoをどう活かすかー地域スポーツ振興のために
第96回		11.27.	立教大学	2004公開シンポジウム「totoを活かそう!ー地域スポーツ振興のために」(福西達男、高橋正紀、徳田仁、両角晶仁)
第97回		12.22.	筑波大学附属高校	代表チームからみたサッカー文化の違い(早川直樹★、安松幹展)
第98回	2005	1.13.	筑波大学附属高校	「サッカーTV」活用法を考える(葉梨忠男)
第99回		2.20.	RICE+(曳舟)	地域社会にみる障害児スポーツクラブの意義(中村敬)
第100回		3.31.	フットボール・ラガース	サロン2002のあゆみ-月例会100回記念パーティ(宇都宮徹巻、中塚義実)
(2005年度)				
第101回		4.15.	筑波大学附属高校	テヘラン日記-総集編-3.25.イラン戦を振り返って(宇都宮徹巻、徳田仁、鈴木崇正)
第102回		5.28.	日本スポーツ振興センター	2005年度総会
第103回		6.24.	筑波大学附属高校	データからJリーグを分析!ーJ-STATS Opta(ジェイスタッソプタ)とは(武田信巖★、山下則之)
第104回		8.6.	愛知県スポーツ会館	広域スポーツセンターを考える(高橋義雄、榊原孝彦)
第105回		8.26.	筑波大学附属高校	公開シンポジウム2005検討会(本多克己他)
第106回		9.20.	筑波大学附属高校	ワールドカップ予選を振り返って(早川直樹★、安松幹展)
第107回		10.13.	筑波大学附属高校	サロン2002公開シンポジウム検討会ークラマーさんありがとう!
第108回		11.12.	味の素スタジアム	2005公開シンポジウム「クラマーさんありがとう!」(D.クラマー、賀川浩、両角晶仁、大橋二郎、中塚義実)
第109回		12.22.	筑波大学附属高校	2006年FIFAワールドカップを語ろう①!ートルコvsスイス戦(欧州プレーオフ)報告会(宇都宮徹巻)
第110回	2006	1.17.	筑波大学附属高校	サッカー新聞のできるまでー「エルゴラッソ」からみえること(浅野智嗣)
第111回		2.9.	筑波大学附属高校	新生totoの全てー「ここでしか話れない」秘密の話?(両角晶仁)
第112回		3.10.	筑波大学附属高校	ラデオで伝えるフットボール(小林達彦★、両角晶仁)
(2006年度)				
第113回		4.28.	筑波大学附属高校	徹底比較 32年ぶりのワールドカップ・ドイツ大会(鈴木崇正、江川純子)
第114回		5.20.	筑波大学附属高校	2006年度総会
第115回		6.21.	ドイツ・フランクフルト市	現地情報交換会ーパブリックビューイング体験
第116回		6.23.	ドイツ・フランクフルト市	スポーツクラブ訪問ーTGボンハイム1860
第117回		7.13.	筑波大学附属高校	FIFAワールドカップ・ドイツ大会報告会(中塚義実、岸卓巨、鈴木崇正他)
番外編		8.21.	筑波大学附属高校	FIFAワールドカップ・ドイツ大会のゲーム分析(庄司悟★、中塚義実)
第118回		8.28.	筑波大学附属高校	FIFAワールドカップ・ドイツ大会にむけたコンディショニング(早川直樹★、安松幹展)
第119回		9.28.	筑波大学附属高校	シンガポールで感じたことー小さな国の大きな試み(中塚義実)
第120回		10.6.	筑波大学附属高校	聴覚障害を持つサッカーファミリーからの言葉ー聴覚障害者を取り巻くサッカー環境と彼等を知る(赤沢宏★、植松隼人★、中村敬)
第121回		11.17.	筑波大学附属高校	バヌアツで感じたこと(岸卓巨)
第122回		12.19.	筑波大学附属高校	サロン2002の10年を振り返る①ー10年間(10年以上)の環境の変化とサロンの変化(中塚義実)
第123回	2007	1.19.	筑波大学附属高校	百年構想最前線ー地域リーグ決勝大会観戦記(宇都宮徹巻)
第124回		2.24.	サッカー居酒屋「いなば」	サロン2002:10周年記念パーティ
第125回		3.24.	日産スタジアム内	2006公開シンポジウム「2006年 ドイツで感じたこと」(池田誠剛、庄司悟、徳田仁)
(2007年度)				
第126回		4.27.	筑波大学附属高校	地方からみたレディースフットサルの現状と今後ートリムカップ・レディースフットサル大会をめぐって(中塚義実)
第127回		5.20.	東京都サッカー協会	2007年度総会
第128回		6.29.	筑波大学附属高校	トヨタカップの始まりとテレビ中継(坂田信久★、牛木素吉郎)
第129回		7.19.	国立競技場	サロン2002にバーチャルなコミュニティは必要か(本多克己)
第130回		8.21.	筑波大学附属高校	特待生問題を考える
第131回		9.23.	代々木体育館 →「風芽車」	Fリーグ開幕を祝して乾杯!
第132回		10.25.	筑波大学附属高校	公開シンポジウム2007検討会
第133回		11.28.	筑波大学附属高校	辺境地のサッカー報告ー極東ロシアサッカー紀行&バヌアツ共和国で感じたこと(第2報)(大久保尚彦、岸卓巨)
第134回		12.15.	青学会館アビエホール	公開シンポジウム2007:「サッカー観戦を楽しもう!ースタジアム編」(仲澤真、徳田仁、宮明透)
第135回	2008	1.23.	筑波大学附属高校	高校サッカーと民放テレビ(坂田信久★、牛木素吉郎)
第136回		2.27.	筑波大学附属高校	東京都からみた日本のフットサルのこれまでとこれから(野口良治)

第137回		3.29.	南国市立スポーツセンター	成田十次郎先生にきくー高知・日本・ドイツのサッカーとトリムカップ
(2008年度)				
第138回		4.23.	筑波大学附属高校	DUOリーグのトロフィーをアート感覚で(中塚義実、土谷享)
第139回		5.10.	味の素スタジアム	2008年度総会
第140回		6.27.	筑波大学附属高校	サロン2002のホームページをリニューアルしよう(本多克己)
第141回		7.26.	岡山国際交流センター	フジアーノ岡山のあゆみと今後
第142回		7.31.	筑波大学附属高校	サッカーのいちジャンルとしてみるハンディキャップサッカー(森山徹★、依藤正次※)
第143回		9.25.	筑波大学附属高校	2008年のビッグイベント①北京五輪を振り返って(安藤裕一※)
第144回		10.30.	筑波大学附属高校	北京、ロンドン、そして東京へ(相原正道)
第145回		11.26.	筑波大学附属高校	2008年のビッグイベント②EURO2008を振り返って(庄司悟★、徳田仁※)
第146回		12.20.	サッカー居酒屋「いなば」	お宝映像上映会兼忘年会
第147回	2009	1.18.	金沢21世紀美術館	タッグパートナーとしてのスポーツとアート
第148回		1.31.	日本青年館・会議室	公開シンポジウム2008:地域からみたJリーグ百年構想(宇都宮徹吉、宮明透、守屋実★)
第149回		3.21.	那智勝浦町体育文化会館	中村覚之助と日本サッカーの夜明け(牛木素吉郎、森岡理右★、山本殖生★、中塚義実※)
(2009年度)				
第150回		4.25.	筑波大学附属高校	サロンin熊野報告&月例会を考える-月例会150回記念企画(中塚義実)
第151回		5.16.	武蔵野陸上競技場	2009年度総会
第152回		6.12.	KOSUGE1-16スタジオ	タッグパートナーとしてのスポーツとアート2(土谷享)
第153回		7.16.	筑波大学附属高校	南アフリカ・コンフェデレーションズカップ報告(田村修一)
第154回		7.28.	川崎競馬場	お出かけサロン:川崎競馬体験ツアー(茅野英一)
第155回		9.17.	筑波大学附属高校	祝!2019年W杯招致決定!日本ラグビーの現状-高校ラグビー-合同チーム問題から見えるもの(嶋崎雅規)
第156回		10.28.	筑波大学附属高校	21世紀の東京オリンピックを考える(嵯峨寿)
第157回		11.24.	筑波大学附属高校	公開シンポジウム2009検討会
第158回		12.19.	サッカー居酒屋「いなば」	お宝映像上映会兼忘年会
第159回	2010	1.20.	筑波大学附属高校	2018/2022年FIFAワールドカップの招致活動(五香純典)
第160回		2.6.	オリンピック記念青少年総合センター	日本サッカーの始祖 熊野の中村覚之助(中村統太郎★、真田久★、加藤弘★、中塚義実※)
第161回		3.6.	青学会館アビエホール	公開シンポジウム:2019ラグビー・ワールドカップ日本大会を語ろう!(岩淵健輔★、直江光信★、島田佳代子★、中塚義実※)
(2010年度)				
第162回		4.9.	筑波大学附属高校	7人制ラグビーの現状と今後(村田互★、高橋義雄※)
第163回		5.8.	味の素スタジアム	2010年度総会
第164回		5.20.	筑波大学附属高校	日独間選手育成システムの違いからみる日本サッカー活性化の方法(高田勝敏)
第165回		6.20.	サムライアルカフエ	南アフリカに行ってきました!-FIFAワールドカップ南アフリカ 研修報告(中塚義実)
第166回		7.21.	筑波大学附属高校	それぞれの2010FIFAワールドカップ-南アフリカってどんな国?(岸卓巨ほか)
第167回		8.19.	筑波大学附属高校	Jリーグ・アカデミー活動の評価(山下則之)
第168回		9.29.	筑波大学附属高校	イタリアから学んだ指導においての視点の違い(井田征次郎)
第169回		10.27.	筑波大学附属高校	日本のU-12の世界を目指して(高崎康嗣)
第170回		11.24.	筑波大学附属高校	「2010年のサッカー環境」はどこまで実現したか(中塚義実)
第171回		12.17.	マーンシャルーツ	泣く子も黙る南米旅行-東南アジアが先進国に思えた日(奥山純一)&お宝映像上映会兼忘年会
第172回	2011	1.27.	筑波大学附属高校	戦前のサッカー育成-神戸一中を中心に(賀川浩)
第173回		2.8.	筑波大学附属高校	World Congress of Science and Football in Nagoyaへの招待(安松幹展)
第174回		3.5.	堺市立ナショナルトレセン	公開シンポジウム:育成期のサッカーを語ろう!(上田亮三郎★、松田保、黒田和生、関塚隆★、中塚義実※)
(2011年度)				
第175回		4.20.	筑波大学附属高校	指導者像について考える-5回の海外研修を通して(伊藤慧)
第176回		5.8.	筑波大学附属高校	2011年度総会
第177回		6.9.	筑波大学附属高校	「当たり前のありがたみ」を求めて-東日本大震災(宮城県でのボランティア活動)と青年海外協力隊(ケニアでの見通し)を通して考える(岸卓巨)
第178回		7.2.	サッカー居酒屋「いなば」	ラグビー観戦して飲みに行こう!
第179回		8.26.	筑波大学附属高校	女子W杯を振り返って-現地レポートと日独サッカー比較人類学(加納樹里、牛木素吉郎、浅野智嗣)
第180回		9.30.	筑波大学附属高校	国際ヒール・ド・ケルベルタ・ユースフォーラム報告-北京で感じ、考えた、「オリンピック教育」の現状と今後(中塚義実)
第181回		10.16.	筑波大学附属高校	サッカーのいちジャンルとしてみるハンディキャップサッカー②電動車椅子サッカー(高橋弘★、依藤正次※)
第182回		11.29.	筑波大学附属高校	ラグビーワールドカップとサッカーワールドカップ(井上俊也)
第183回		12.17.	サッカー居酒屋「いなば」	北朝鮮をめぐって&忘年会
第184回	2012	1.25.	筑波大学附属高校	日本のスポーツ、これまでとこれから(清水諭)
第185回		2.22.	筑波大学附属高校	アスリートのメディアサポートの現場から(片上千恵★、仲澤眞※)
第186回		3.4.	味の素スタジアム	公開シンポジウム:『高校サッカー90年史』を語ろう!(北原由、牛木素吉郎、賀川浩、中塚義実)
(2012年度)				
第187回		4.26.	筑波大学附属高校	U-18年代のフットサル-2001東京、2012名古屋、そして未来へ(中塚義実、本多克己)
第188回		5.13.	筑波大学附属高校	2012年度総会
第189回		6.29.	筑波大学附属高校	アジアのサッカーあれこれ(笹原勉)
第190回		7.17.	筑波大学附属高校	EURO2012を振り返って(徳田仁、田村修一、宇都宮徹吉)
第191回		8.27.	筑波大学附属高校	1.1960~80年代の中国スポーツ(牛木素吉郎) 2.スタジアムから見る中国サッカーの現在地(宇都宮徹吉)



第192回		9.26.	筑波大学附属高校	フットサルの育成と国際交流—ドイツ・ジャパン・フットサルフェスティバルを中心に(山下則之)
第193回		10.31.	筑波大学附属高校	強いフランスを目指したサルコジ時代のフランスサッカー(井上俊也)
番号編		11.18.	筑波大学附属高校	「学校運動部には何が出来るか」についてセルジオ越後さんと語ろう！(セルジオ越後、鍋島和夫、中塚義実ほか)
第194回		11.22.	筑波大学附属高校	FIFAフットサル・ワールドカップ2012報告会(徳田仁)
第195回		12.15.	スポーツフェ「ティア・スーナ」	お宝映像上映会兼忘年会—1966北朝鮮vsイタリアほか
第196回	2013	1.23.	筑波大学附属高校	ラグビー・トップリーグプレーヤーの生活(浦和俊介)
第197回		2.22.	筑波大学附属高校	欧州チャンピオンズカップの成立(田村修一)
第198回		3.23.	大分県臼杵市民会館	サロンin大分(臼杵):竹腰重丸を語る(浅見俊雄★、牛木素吉郎、吉田稔★、中塚義実)
第199回		3.30.	テバ・オーシャンアリーナ	公開シンポジウム:U-18フットサルを語ろう！(松崎康弘★、大立目佳久★、岩本芳久★、中塚義実)
(2013年度)				
第200回		4.20.	筑波大学附属高校	サロン2002の“これまで”と“これから”を語ろう！—サロンin臼杵&公開シンポin名古屋&月例会200回を振り返って(中塚義実)
第201回		5.6.	筑波大学附属高校	2013年度総会
第202回		6.15.	筑波大学附属高校	ラグビースピリット(梶原宏之★)、7人制と15人制(村田互) → 日本vsウェールズ観戦
第203回		7.18.	筑波大学附属高校	コンフェデレーションズカップ2013を振り返って(徳田仁、牛木素吉郎、田村修一)
第204回		8.24.	筑波大学附属高校	サロン2002の法人化をめぐる①(サロン2002法人化プロジェクト:奥山純一、小池正通、笹原勉ほか)
第205回		9.22.	筑波大学附属高校	オリンピック教育の行方 —第9回国際ビエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラムで感じたこと(中塚義実)
第206回		10.27.	筑波大学附属高校	サロン2002の法人化をめぐる②(サロン2002法人化プロジェクト:奥山純一、小池正通、笹原勉ほか)
第207回		11.22.	筑波大学附属高校	スポーツを通じた豊かな暮らし—青年海外協力隊、ケニアでの事例より(岸卓巨)
第208回		12.28.	フットボール・サロン4-4-2	お宝映像上映会兼忘年会—ペレとブラジルを中心に
第209回	2014	1.26.	筑波大学附属高校	FCバルセロナ憲章にみるバルサの本当のすごさ(小池正通)
第210回		2.23.	筑波大学附属高校	臨時総会
第211回		3.30.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム:スポーツクラブの法人化を語ろう！(賀川浩、黒崎祐一、水上博司、中塚義実)
(2014年度)				
第212回		4.24.	筑波大学附属高校	タッグパートナーとしてのスポーツとアート(第3弾) —古くなったものを楽しく保存継承するという可能性(土谷享、佐藤一朗)
第213回		5.31.	筑波大学附属高校	2014年度総会/NPOサロン2002設立総会
第214回		6.14.	フットボール・サロン4-4-2	NPOサロンキックオフ月例会—理事長が語るFIFAワールドカップ(中塚義実)
第215回		7.21.	フットボール・サロン4-4-2	FIFAワールドカップ・ブラジルを語る①—観戦者・旅行者・研究者の視点から(本多克己、笹原勉、笠野英弘)
第216回		8.30.	フットボール・サロン4-4-2	現役最年長記者 賀川浩さんが語る —2014FIFAワールドカップ・ブラジルとU-18フットサル(賀川浩)
第217回		9.26.	フットボール・サロン4-4-2	テレビに映らなかったワールドカップ(宇都宮徹吾)
第218回		11.1.	筑波大学附属高校	ユース年代における7人制ラグビーの現状(石渡利昭★、川中子修★)
第219回		11.20.	筑波大学附属高校	ドイツに学ぼう—育成システムとブンデスリーガ(高田勝敏、山下則之)
第220回		12.28.	フットボール・サロン4-4-2	お宝映像上映会兼忘年会—EURO1972決勝:西ドイツvsソ連
第221回	2015	1.28.	筑波大学附属高校	小中高の体育の授業でサッカーをどう扱うか(中塚義実)
第222回		3.8.	フットボール・サロン4-4-2	会員交流会—①フットサル交流、②ワークショップ&パーティ
第223回		3.25.	フットボール・サロン4-4-2	FIFA会長賞受賞記念講演会「マイ・フットボール・クロニクル1924-2015」(賀川浩)
(2015年度)				
第224回		4.28.	筑波大学附属高校	NPO法人化初年度のサロン2002共催事業を振り返る —クーベルタン・嘉納ユースフォーラム2015を中心に(中塚義実)
第225回		5.30.	杉並区産業商工会館	旧ユーゴスラビアが日本に残すサッカーの遺産—ボスニア・ヘルツェゴビナから見つめて(森田太郎★)
第226回		6.13.	筑波大学附属高校	ミャンマーとサッカー—いち学生が観た発展途上国のサッカー(春日大樹) / 2015年度総会
第227回		7.4.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム:スポーツで「ゆたかな暮らし」を(村松邦子、山口拓、小林洋平、岸卓巨)
第228回		8.14.	フットボール・サロン4-4-2	競技力とデータ測定の関係(北田典央)
第229回		9.30.	筑波大学附属高校	スロバキアへ行ってきました！ —第10回国際ビエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告会(中塚義実)
第230回		10.23.	筑波大学附属高校	大学の授業を通じた体育・スポーツ分野における国際協力 —カンボジア王国におけるスポーツ指導・運動会・体育の実践(山平芳美★、岸卓巨※)
第231回		11.27.	フットボール・サロン4-4-2	2019年ラグビーワールドカップの成功のために① —日本代表の活躍を踏まえて、今私たちにできることは(嶋崎雅規)
第232回		12.16.	筑波大学附属高校	2019年ラグビーワールドカップの成功のために② —日本のラグビー界はこれからどうあるべきか(山本巧★、嶋崎雅規※)
第233回	2016	1.26.	筑波大学附属高校	柔道というスポーツが日本で愛されるために —柔道のこれまでの歩みを振り返り、今後の課題を考える(川戸湧也)
第234回		2.1.	フットボール・サロン4-4-2	「このくにのサッカー」を語る(賀川浩)
第235回		3.30.	筑波大学附属高校	FIFAスキャンダルとFIFAの行方(田村修一)
(2016年度)				
第236回		4.21.	筑波大学附属高校	海外サッカー—中継の舞台裏(仁藤慶彦★、笹原勉※)
第237回		5.16.	筑波大学附属高校	サッカー、ドイツ、通訳(山内直)
第238回		6.11.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会—NPO法人サロン2002には何が出来るか
第239回		7.16.	日本サッカー協会	ある女子サッカー選手の異文化体験—アメリカ、スウェーデン、ザンビア(野口亜弥★、中塚義実※)
第240回		8.29.	筑波大学附属高校	EURO2016とリオ五輪を振り返って(田村修一、徳田仁)
第241回		9.21.	筑波大学附属高校	日本初の女子A級レフェリー世界へ羽ばたく —リオデジャネイロ・オリンピック ラグビー—競技報告(川崎桜子★、嶋崎雅規※)
第242回		10.21.	筑波大学附属高校	リオデジャネイロ五輪における柔道日本代表の情報サポート(川戸湧也)
第243回		11.17.	筑波大学附属高校	「ゆたかな暮らし」作りに独自の力で挑むスポーツドクター—安藤がモンゴルで考えた事(安藤裕一)
第244回		12.17.	桐蔭会館	公開シンポジウム:日本サッカーのルーツを語ろう！(真田久★、賀川浩、牛木素吉郎、中塚義実※)

第245回	2017	1.24.	筑波大学附属高校	NPOサロンの事業を考える①-公開シンポジウム(中塚義実)
第246回		2.17.	筑波大学附属高校	FCバルセロナ・カンテラ出身の久保建英君をめぐるメディアの在り方と2015年2月始まったペーニャ(サポーターズ・クラブ)の正しい作り方に関して(小池正通)
第247回		3.29.	すみだ産業会館	NPOサロンの事業を考える②-U-18フットサル(中塚義実、本多克己)
(2017年度)				
第248回		4.18.	筑波大学附属高校	マーケティングの観点から見た2019年ラグビーワールドカップ組み合わせ試案(井上俊也)
第249回		5.25.	筑波大学附属高校	NPOサロンの事業を考える③-月例会(中塚義実)
第250回		6.10.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会-今後の展望について
第251回		7.24.	フットボール・サロン4-4-2	お宝映像上映会-いわゆる「ドーハの悲劇」と「ジョホールバルの歓喜」
第252回		8.27.	桐蔭会館	サロン2002 20周年記念シンポジウム: Before2002, After2002(仲澤真、宇都宮徹也、鈴木崇正★、中塚義実)
第253回		9.15.	筑波大学附属高校	エストニアへ行ってきました! -第11回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告会(藤原亮司★、中塚義実※)
第254回		10.20.	品川宿交流館	東海道品川宿FCのスポーツを通じたゆたかな暮らしづくり、まちづくり -フットサルのチカラで、部活動の課題解決に取り組む(竹中茂雄、松村圭佑★)
第255回		11.24.	筑波大学附属高校	TOKYO2020オリンピック・パラリンピックと漫画の世界(小林勝海★、中塚義実※)
第256回		12.19.	筑波大学附属高校	運動部活動のいま(嶋崎雅規)
第257回	2018	1.12.	筑波大学附属高校	日本と中国のユース年代のスポーツ環境を考える -中国のサッカー指導者との情報交換会【SFT認定事業】(中塚義実、Kenio Yao★、鈴木稔★)
第258回		2.20.	筑波大学附属高校	FC United of Manchester -イングランドのソシオ型スポーツクラブの紹介(張壽山)
第259回		3.20.	筑波大学附属高校	ドイツ生まれのボール教室「バルシューレ」の展開と可能性(福士唯男★、安藤裕一※)
(2018年度)				
第260回		4.26.	筑波大学附属高校	高校サッカー百年をめぐって-一部活動のあり方を考える(中塚義実)
第261回		5.22.	筑波大学附属高校	ワールドカップのグループリーグからフェアネスを考える(井上俊也)
第262回		6.10.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会-公開シンポジウム2018を中心に
第263回		7.26.	セネガル料理屋「Cafe Bar Blue Baobab」	セネガル料理を食べながら聞くFIFAワールドカップロシア大会報告 -ホットな現地の様子を生き生きと(徳田仁、守屋俊英、笹原勉)
第264回		8.27.	筑波大学附属高校	FIFAワールドカップ討論会-ロシア大会での事例をめぐって(中塚義実、小幡真一郎、松井完太郎★)
第265回		9.17.	桐蔭会館	公開シンポジウム: 部活動を語ろう!(中澤篤史★、中小路徹★、嶋崎雅規、中塚義実)
第266回		10.24.	筑波大学附属高校	文京ラグビースクールにおける学び(齊藤守弘★、嶋崎雅規※)
第267回		11.17.	筑波大学附属高校	サッカーの戦術を構築する(北田典央)
第268回		12.21.	スポーツカフェ「ティア・スーナ」	お宝映像上映会兼忘年会-1970ブラジルvsペルーほか
第269回	2019	1.18.	桐蔭会館	ポッチャ体験会&Non-Borderポッチャ交流会(2月11日)実行委員会(佐藤妙子★、岸卓巨※)
第270回		2.27.	筑波大学附属高校	サロン2002からのメッセージ① ユース年代にリーグ戦を! -U-18フットサルリーグ・チャンピオンズカップをめぐって(本多克己、中塚義実)
第271回		3.27.	筑波大学附属高校	サロン2002からのメッセージ② オリンピズムを教育に! -大河ドラマ「いだてん」の背景とスポーツ庁オリパラ事業の現状(仮題)(大林太郎★、中塚義実)
(2019年度)				
第272回		4月	「ダイニング翼」	コミュニティ型のサッカーグラウンドづくり(加藤遼也★、岸卓巨)
第273回		5.24.	筑波大学附属高校	ラグビーはよくわからない...という方のための、ラグビーワールドカップ日本大会の楽しみ方 (直江光信★、嶋崎雅規)
第274回		6.9.	筑波大学附属高校	総会後の意見交換会
第275回		7.14.	桐蔭会館	公開シンポジウム: ラグビーワールドカップ2019を語ろう!(薫田真広★、徳増浩司★、村田互★、嶋崎雅規)
第276回		8.23.	「ダイニング翼」	お宝映像上映会<ラグビー編>-伝説の「2015 日本 vs 南アフリカ」DVD 観戦
第277回		9.26.	筑波大学附属高校	シンガポールで感じたこと② -13年ぶり2度目のAPYLS(アジア太平洋青少年リーダーズサミット)引率を通して(中塚義実)
第278回		10.24.	筑波大学附属高校	フランスのマコンに行ってきました -第12回国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム報告会(山田恵子★、中塚義実)
第279回		11.22.	桐蔭会館	第2回Non-Borderポッチャ交流会プレイベント-ポッチャ講習会&第2回実行委員会
第280回		12.16.	文京ラグビースクール事務所	忘年会兼月例会: それぞれのラグビーワールドカップ2019-思い出話とこれからの話
第281回	2020	1.28.	筑波大学附属高校	サッカーの脳挫傷の現状とGKヘッドギア標準ルール導入の当否(関秀忠)
中止		2.28.	文京ラグビースクール事務所	(新型コロナウイルスの影響で3月以降に延期)
中止		3月	中止	(新型コロナウイルスの影響で3月以降に延期)
(2020年度)				
第282回		4.28.	オンライン(ZOOM)	「新型コロナ」にどう向き合うか①-学校・職場(と自宅)・スポーツイベント(中塚義実、笹原勉、徳田仁)
第283回		5.29.	オンライン(ZOOM)	「新型コロナ」にどう向き合うか②-一部活動・市民イベント・障がい者の現場より (嶋崎雅規、本多克己、浅見明子)
第284回		6.20.	オンライン(ZOOM)	総会後の意見交換会
第285回		7.8.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて①-2020年度のU-18フットサルをめぐって(中塚義実、本多克己)
第286回		8.23.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて②-スポーツは人々のライフラインとなれるか【アフリカ編】(岸卓巨)
第287回		9.25.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて③-地域スポーツクラブの現場より: ドクターの視点から(安藤裕一)
第288回		10.29.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて④-日本におけるスポーツボランティアの経緯と今後(小松章一)
第289回		11.19.	オンライン(ZOOM)	「withコロナ」の時代に向けて⑤ -運動部活動における「大会」の意味・意義を考える(蔵森紀昭★、嶋崎雅規、中塚義実)
第290回		12.13. AM	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム「With/Afterコロナ」の時代に向けて-コロナ禍でみえた「ゆたかな暮らし」の新しいすがた 第1部 「イベント」を中心に(宇都宮徹也、土谷享、本多克己、中塚義実)
		12.13. PM	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム「With/Afterコロナ」の時代に向けて-コロナ禍でみえた「ゆたかな暮らし」の新しいすがた 第2部 「新しい日常」を中心に(田中理恵、春日大樹、岸卓巨、中塚義実)

第291回	2021	1.28.	オンライン(ZOOM)	第5回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップを振り返って(中塚義実、本多克己、田島璃子)
第292回		2.18.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002のこれからを考えるー情報発信プロジェクトからの問題提起(徳田仁ほか)
第293回		3.13.	オンライン(ZOOM)	東京都におけるU-18フットサルの20年ー2001～2020のあゆみとこれから(中塚義実ほか)
(2021年度)				
第294回		4.16.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002のこれからを考える②ー理事長からの問題提起(中塚義実ほか)
第295回		5.13.	オンライン(ZOOM)	どうなる、東京オリンピック・パラリンピック ー2020～21のスポーツイベントの実施状況から考える(嶋崎雅規、徳田仁)
第296回		6.19.	オンライン(ZOOM)	(限)総会後の意見交換会
第297回		7.16.	オンライン(ZOOM)	暑熱下でのスポーツ活動2.0(安松幹展)
第298回		8.23.	オンライン(ZOOM)	日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」を語ろう！(岡島喜久子★、中塚義実※)
第299回		9.13.	オンライン(ZOOM)	スポーツにおけるマウスガードの効用(高橋昌嗣★、関秀忠※)
第300回		10.23.	オンライン(ZOOM)	サロンファミリーが感じたtokyo2020ー月例サロン300回記念 (川戸雄也、赤城翼★、岸卓巨、小松章一、梅澤佳子、小池靖)
第301回		11.6.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム①「安心・安全なサッカーのためにー育成年代でのヘディング習得のためのガイドラインを中心に」(中山雅雄★、石堂典秀★、相浦正俊★、関秀忠※)
第302回		12.11.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム②「JFA100周年:2021年の総括と展望ーTOKYO 2020、WEリーグ、そしてコロナ後へ」(賀川浩、加藤寛★、川島健司★、中塚義実)
第303回	2022	1.26.	オンライン(ZOOM)	試合中におけるレフェリーの安全管理(小幡真一郎、谷口浩★、嶋崎雅規※)
第304回		2.10.	オンライン(ZOOM)	フットサルフェスタ25年目の挑戦 ーAfrica Challengeとのコラボレーション(本多克己、Africa Challengeプロジェクトメンバー、岸卓巨※)
第305回		3.14.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002の「これから」を考える③ー2022年度以降の持続可能なすがたを求めて
(2022年度)				
第306回		4.19.	オンライン(ZOOM)	ユースリーグのこれからを考える①ー「DUOリーグのトロフィーがない！」プロジェクトを中心に (中塚義実、土谷享、佐藤いちろう、嶋野雅春★)
第307回		5.10.	オンライン(ZOOM)	ユースリーグのこれからを考える②ーU-18フットサルリーグを中心に(中塚義実、本多克己ほか)
第308回		6.18.	オンライン(ZOOM)	(限)総会後の意見交換会ーサロン2002の事業と組織を考える
第309回		7.19.	オンライン(ZOOM)	歯磨き感覚でスポーツは可能か？(第2弾)ー18年前の続きの話(土谷享、井関信雄★)
第310回		8.26.	オンライン(ZOOM)	岐阜県発 陸上クラブが提供する新しい価値 ー部活動地域移行・競技横断・ITシステム活用のコーチング(中宗一郎、春日大樹)
第311回		9.30.	オンライン(ZOOM)	2022 世界のサッカーーオリンピックとワールドカップの間で(井上俊也)
第312回		10.19.	オンライン(ZOOM)	(限)公開シンポジウムの「成功」のためにーテーマ設定・情報発信・成果の共有
第313回		11.13.	千曲市総合観光会館/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム①「温泉街をスポーツで盛り上げよう！ ーU-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ オープニングサロン@千曲」 (岡田昭雄★、本多克己、福角有紘★、中塚義実)
第314回		12.15.	オンライン(ZOOM)	(限)ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構えーサロン 2002 行動規範をつくろう！
第315回	2023	1.15.	デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KITO)/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム②「もっと遊ぼう！ースポーツとアートにできること」 (三好天都★、椎名一平★、土谷享、中塚義実)
第316回		2.22.	オンライン(ZOOM)	第13回国際ビエール・ド・クーベルタンニュースフォーラム報告 ーコロナ禍でのオリンピック教育(内藤智★、中塚義実ほか)
第317回		3.13.	オンライン(ZOOM)	みるスポーツとしてのFIFAワールドカップカタール大会を振り返って (徳田仁、田中俊也、守屋俊秀、笹原勉、中塚義実ほか)
(2023年度)				
第318回		4.20.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	(限)Afterコロナのリスタートーサロンファミリーの周辺で (中塚義実、本多克己、笹原勉、田中俊也、小松俊介、磯和明、柳りこほか)
第319回		5.20.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	ちゃんと遊ぶための「サンマ」を考える②ースポーツ施設の観点から(石原俊秀)
第320回		6.17.	都内法律事務所/ オンライン(ZOOM)	(限)総会後の意見交換会ーサロン2002の事業と組織を考える
第321回		7.21.	ギャラリー青羅/ オンライン(ZOOM)	アートを通して南極とつながる(小松俊介)
第322回		8.27.	桐蔭会館/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム①「成田十次郎先生を語ろう！ーD.クラマーを日本に紹介した教育者・研究者・実践者」 (柴田宗宏★、真田久★、竹下誠一★、中塚義実)
第323回		9.10.	ブラセリエ BRAS SERIE	(限)祝 オープン & RWC2023 開幕ーブラセリエ BRAS SERIE で日本 vs チリ観戦
第324回		10.19.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	ラグビーワールドカップ2023 フランスの旅(嶋崎雅規、徳田仁)
第325回		11.26.	桐蔭会館/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム②「日本サッカーのルーツを語ろうPart2 ー東京高等師範学校附属中学蹴球部の100周年を機に」(関佳史★、石坂友司★、中塚義実)
第326回		12.9.	ブラセリエ BRAS SERIE	(限)2023忘年会兼お宝映像上映会(ラグビー) ー1983年10月22日 ウェールズvs日本 @カーディフ
第327回	2024	1.30.	オンライン(ZOOM)	(限)第8回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ総括&慰労会
第328回		2.27.	オンライン(ZOOM)	U-18フットサルリーグチャンピオンズカップをめぐって ー第8回大会の総括と今後の展望
第329回		3.29.	都内法律事務所/ オンライン(ZOOM)	スポーツ教育の現場での犯罪防止教育 ー犯罪の加害者にも被害者にもさせないために(関秀忠)
(2024年度)				
第330回		4.18.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002を語ろう！ー2024年度のスタートにあたって
第331回		5.9.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	大戦前の日本サッカーと二つのルーツ校ー東京高師と東京高師附属中(中塚義実)

第332回		6.15.	都内法律事務所/ オンライン(ZOOM)	(限)2004総会後の意見交換会ーサロン2002の事業と組織を考える
第333回		7.12.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	次世代支援について語ろうー未来を創る25歳の若者たちに必要な成長支援は？(磯和明)
第334回		8.1.	グリーンアリーナ神戸 多目的ホール	公開シンポジウム① U-18女子フットサルを語ろう！ (中村征斗★、田中悦博★、小林美由紀★、中塚義実、本多克己)
第335回		9.3.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	U-18フットサルリーグチャンピオンズカップの短編ドキュメンタリー映画をつくろう！ (ガスパール・クエンツ★、土谷享)
第336回		10.4.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	ソーシャルフットボールについてー精神科デイケアでのリハビリとソーシャルフットボール(野村忠明)
第337回		11.23.	桐蔭会館/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム② 部活動で学んだことを語ろう！ー筑波大学附属高校蹴球部の近現代を中心に (高橋正紀★、朝倉雅史★、中塚義実)
第338回		12.21.	ブラセリエ BRAS SERIE	(限)2024忘年会兼お宝映像上映会:1974年のオランダ ー1974 FIFAワールドカップ 1次リーグ オランダvsウルグアイ
第339回	2025	1.30.	オンライン(ZOOM)	(限)第9回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ総括と今後
第340回		2.25.	オンライン(ZOOM)	台湾駐在の楽しみースポーツ、食べ物、文化(笹原勉)
第341回		3.28.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	(限)U-18FLCCの10周年に向けてー“出張サロン”と“ドキュメンタリー映像&書籍化”の可能性 (中塚義実、土谷享ほか)
(2025年度)				
第342回		4.17.	都内法律事務所/ オンライン(ZOOM)	スポーツ関連のカスハラ・不当要求に対する具体的対応要領ーよく用いるクレーム対応フレーズ集の実践 <2025年4月1日東京都カスタマー・ハラスメント防止条例施行を受けての緊急公開サロン>(関秀忠)
第343回		5.29.	世田谷区宮坂区民センター	スポーツクラブとコミュニティとデモクラシーースポーツクラブは誰のものか(張寿山)
第344回		6.14.	都内法律事務所/ オンライン(ZOOM)	(限)2005総会後の意見交換会ー2025年度の公開シンポジウムを中心に
第345回		7.19.	富山県民会館 「サロンin富山」	部活動改革のゆくえをさぐるー富山県の高校部活動調査を中心に (佐伯仁史★、橋和徳、中塚義実)
第346回		8.17.	SHIMIZU CROSS 「サロンin清水」	部活動改革のゆくえをさぐるー静岡市の中学生年代のサッカー競技を中心に (中村栄★、中塚義実)
第347回		9.26.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	イングランドへ行ってきました！ー部活指導がなくなった元高校体育教師の夏休み(中塚義実)
第348回		10.18.	豊島区立千登世橋中学校/ オンライン(ZOOM)	部活から地域クラブへの運営と課題、新たな価値創出ストーリーの描き方 ーサッカーの中に人生があるのではなく、人生の中にサッカーがある(内田光侶、大島香保★)
第349回		11.23.	桐蔭会館/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム①「ユース年代のサッカー」を語ろう！ーU-18フットサルリーグチャンピオンズカップの10周年を機に(玉生謙介★、大友洋介★、橋和徳、石井智★、本多克己、中塚義実)
第350回		12.21.	桐蔭会館/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム② 賀川浩さんを語ろう！ー次世代につなげるために (長岡康規★、稲垣康介★、田村修一★、大澤謙一郎★、松永憲明★、出嶋剛★、本多克己、中塚義実)
第351回	2026	1.26.	オンライン(ZOOM)	(限)第10回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ総括と今後
第352回		2.17.	オンライン(ZOOM)	オリンピック教育の現状と今後 ー国内・国際クーベルタンユースフォーラムのあゆみとともに(中塚義実)
第353回		3.31.	オンライン(ZOOM)	「中村覚之助杯」報告ー日本サッカーの“始祖”の名を冠する少年サッカー大会(中塚義実)
				★は月例サロンの時点でサロンファミリー以外の方 ※はコーディネーター (限)は「限定サロン」(サロン2002ファミリー限定)。そのほかは「公開サロン」



サロン2002公開シンポジウム一覧(2001~2025)

2026.2.24.

年度	期日	会場	テーマ(演者)
2001	2001.7.22.	横浜国際総合競技場	コンフェデレーションズカップ総括シンポジウム 長岡茂、竹原典子、小島裕範
2002	2002.8.3.	東京体育館	ワールドカップ総括シンポジウムⅠ-「ささえる物語」を中心に 長岡茂、村林裕、宮城島清也
	2002.8.10.	神戸ファッション美術館	ワールドカップ総括シンポジウムⅡ-「観戦と交流の物語」を中心に 賀川浩、スー木下、橋本潤子、宇都宮徹彦
2003	2003.8.2.	東京体育館	公開シンポジウム2003「地域で育てるこれからのスポーツ環境」 中塚義実、宇都宮徹彦、山下則之
2004	2004.11.27.	立教大学	公開シンポジウム2004「totoを活かそう！-地域スポーツ振興のために」 福西達男、高橋正紀、徳田仁、両角晶仁
2005	2005.11.12.	味の素スタジアム	公開シンポジウム2005「クramerさんありがとう！」 D.クramer、賀川浩、両角晶仁、大橋二郎、中塚義実
2006	2007.3.24.	日産スタジアム内	公開シンポジウム2006「2006年 ドイツで感じたこと」 池田誠剛、庄司悟、徳田仁
2007	2007.12.15.	青学会館アビエホール	公開シンポジウム2007「サッカー観戦を楽しもう！-スタジアム編」 仲澤真、徳田仁、宮明透
2008	2009.1.31.	日本青年館・会議室	公開シンポジウム2008「地域からみたJリーグ百年構想」 宇都宮徹彦、宮明透、守屋実
	2009.3.21.	那智勝浦町体育文化会館	日本サッカー史シンポジウム「中村覚之助と日本サッカーの夜明け」 牛木素吉郎、森岡理右、山本殖生、中塚義実
2009	2010.2.6.	オリンピック記念青少年総合センター	東京シンポジウム「日本サッカーの始祖 熊野の中村覚之助」 中村統太郎、真田久、加藤弘、中塚義実
	2010.3.6.	青学会館アビエホール	公開シンポジウム2009「2019ラグビー・ワールドカップ日本大会を語ろう！」 岩淵健輔、直江光信、島田佳代子
2010	2011.3.5.	堺市立ナショナルトレセン	公開シンポジウム2010=デンソーシンポジウム「育成期のサッカーを語ろう！」 上田亮三郎、松田保、黒田和生、関塚隆
2011	2012.3.4.	味の素スタジアム	公開シンポジウム2011「『高校サッカー90年史』を語ろう！」 北原由、牛木素吉郎、賀川浩、中塚義実
2012	2013.3.23.	臼杵市民会館小ホール	サロンin臼杵「竹腰重丸を語る」 浅見俊雄、牛木素吉郎、吉田稔、中塚義実
	2013.3.30.	テバ・オーシャンアリーナ	公開シンポジウム2012「U-18フットサルを語ろう！」 松崎康弘、大立目佳久、岩本芳久、中塚義実
2013	2014.3.30.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム2013「スポーツクラブの法人化を語ろう！」 賀川浩、黒崎祐一、水上博司、中塚義実
2014	サロン2002のNPO法人化準備のため公開シンポジウム開催せず		
2015	2015.7.4.	筑波大学東京キャンパス	公開シンポジウム2015「スポーツで“ゆたかなくらし”を！」 村松邦子、山口拓、小林洋平、岸卓巨
2016	2016.12.17.	桐蔭会館	公開シンポジウム2016「日本サッカーのルーツを語ろう！」 -東京高等師範学校の足跡を中心に- 真田久、賀川浩、牛木素吉郎、中塚義実
2017	2017.8.27.	桐蔭会館	20周年記念シンポジウム「Before2002, After2020 -スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を目指して」 仲澤真、宇都宮徹彦、鈴木崇正、中塚義実
2018	2018.9.17.	桐蔭会館	公開シンポジウム2018「部活動を語ろう！-高校サッカー百年を機に」 中澤篤史、中小路徹、嶋崎雅規、中塚義実
2019	2019.7.14.	桐蔭会館	公開シンポジウム2019「ラグビーワールドカップ2019を語ろう！」 -4年に一度じゃない、一生に一度だ！- 薫田真広★、徳増浩司★、村田互★、嶋崎雅規
2020	2020.12.13.	第1部:長野県千曲市ほか オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2020「With/Afterコロナ」の時代に向けて -コロナ禍でみえた“ゆたかなくらし”の新しいすがた 第1部「イベント」を中心に 宇都宮徹彦、土谷享、本多克己、中塚義実
		第2部:東京都文京区ほか オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2020「With/Afterコロナ」の時代に向けて -コロナ禍でみえた“ゆたかなくらし”の新しいすがた 第2部「新しい日常」を中心に 田中理恵、春日大樹、岸卓巨、中塚義実
2021	2021.11.3.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2021-1「安心・安全なサッカーを目指して -育成年代でのヘディング習得のためのガイドラインを中心に」 中山雅雄★、石堂典秀★、相山正俊★、関秀忠
	2021.12.11.	オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2021-2「JFA100周年 2021年の総括と展望 -TOKYO 2020、WEリーグ、そしてコロナ後へ」 賀川浩、加藤寛★、川島健司★、中塚義実

2022	2022.11.13.	千曲市総合観光会館およびオンライン(Zoom)	公開シンポジウム2022-1「温泉街をスポーツで盛り上げよう！ ーU-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ オープニングサロン@千曲」 岡田昭雄★、本多克己、福角有紘★、中塚義実
	2023.1.15.	デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)およびオンライン(ZOOM)	公開シンポジウム2022-2「もっと遊ぼう！ースポーツとアートにできること」 三好 天都★、椎名 一平★、土谷享、中塚義実
2023	2023.8.27.	桐蔭会館およびオンライン(Zoom)	公開シンポジウム2023-1「成田十次郎先生を語ろう！ ーD.クラマーを日本に紹介した教育者・研究者・実践者」 柴田宗宏★、真田久★、竹下誠一★、中塚義実
	2023.11.26.	桐蔭会館およびオンライン(Zoom)	公開シンポジウム2023-2「日本サッカーのルーツを語ろう！Part2 ー東京高等師範学校附属中学蹴球部の100周年を機に」 関佳史★、石坂友司★、中塚義実
2024	2024.8.1.	桐蔭会館およびオンライン(Zoom)	公開シンポジウム2024-1「U-18女子フットサルを語ろう！」 田中悦博★、中村柁斗★、小林美由紀★、中塚義実
	2024.11.23.	桐蔭会館およびオンライン(Zoom)	公開シンポジウム2024-2「部活動で学んだことを語ろう！ ー筑波大学附属高校蹴球部の近現代を中心に」 高橋正紀★、朝倉雅史★、中塚義実
2025	2025.11.23.	桐蔭会館およびオンライン(Zoom)	公開シンポジウム2025-1「“ユース年代のサッカー”を語ろう！ ーU-18フットサルリーグチャンピオンズカップの10周年を機に」 玉生謙介★、大友洋介★、橘和徳、原陽司、本多克己、中塚義実
	2025.12.21.	桐蔭会館およびオンライン(Zoom)	公開シンポジウム2025-2「賀川浩さんを語ろう！一次世代につなげるために」 長岡康規★、稲垣康介★、田村修一★、大澤謙一郎★、松永憲明★、 出嶋 剛★、本多克己、中塚義実

注1) 「日本サッカー史シンポジウム」は、筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブと日本サッカー史研究会が主催し、サロン2002が協力。「東京シンポジウム」は、熊野三山協議会主催、サロン2002は共催した。

注2) 「デンソーシンポジウム(2010公開シンポジウム)」は、株式会社デンソーの特別協賛のもと、(財)日本サッカー協会、全日本大学サッカー連盟、デンソーカップ実行委員会とサロン2002が主催した。

注3) 「竹腰重丸を語る」は、サロン2002が主催する「サロンin臼杵」として開催。臼杵市、臼杵市体育協会、臼杵市教育委員会、日本サッカー史研究会、一般社団法人東大LB会、ビバサッカー研究会、臼杵市サッカー協会、社団法人大分県サッカー協会の後援、また地元の多くの企業の協賛を得て開催した。

